官報 號外 明治三十二年二月二十三日 木曜日 印刷局

○第十三回帝國議會 貴族院議事速記錄第三十一號

明治三十二年二月二十二日(水曜日)午前十時十六分開議

議事日程 第三十一號 明治三十二年二月二十二日

午前十時開議

第一 明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)竝明治三十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第三號)審査期限ヲ定ムルノ件

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(追第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第三 沖繩縣土地整理法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第五 取引所法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第七 噸稅法案(政府提出衆議院送付) 第二讀會

第八 醬油稅則中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第九 郵便條例中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十 實業教育費國庫補助法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十二 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十四 特別年限地租增徵ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十五 北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案(男爵小澤武雄君外二名發議) 會議

第十六 溫泉津燈臺建設ノ請願 會議

第十七 衆議院議員選擧法改正ノ請願 會議

第十八 奧羽鐵道布設工事ニ關スル請願 會議

第十九 家祿ニ關スルノ請願 會議

第二十 私設鐵道買收ニ關スル請願 會議

第二十一 印紙稅法案ニ關スル請願 會議

第二十二 北海道水產稅全廢ノ請願 會議

第二十三 在外賣淫婦取締法制定ニ關スル請願 會議

第二十四 醬油稅增加ヲ不可トスル件請願 會議

第二十五 葉煙草專賣支所改設ノ請願 會議

第二十六 賣藥印紙全廢ノ請願 會議

第二十七 自家用料醬油製造取締ノ請願 會議

第二十八 復籍ノ請願 會議

第二十九 市街宅地上地下付ノ請願 會議

第三十 家屋稅及醬油稅ニ關スル請願 會議

第三十一 社寺上地林還付ノ請願 會議

第三十二 鐵道國有ノ請願 會議

○議長(公爵近衞篤麿君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

昨二十一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案(第七號)

明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第四號)

明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第六號)

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出刑事訴訟法中改正法律案ハ即日衆議院ニ送付シタリ

同日左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

水先法案

非訟事件手續法中改正法律案

長野縣下郡廢置及郡界變更法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)竝明治三十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第九號)

香川縣下郡廢置法律案

府縣制改正法律案

郡制改正法律案

同日衆議院提出種牡馬檢査法中改正法律案ヲ受領シタリ

本日村田保君ヨリ定規ノ贊成ヲ以テ鮭鱒蕃殖事業ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

各委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

登錄稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町實正君 副委員長 男爵尾崎三良君

登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定廢止法律案特別委員會

委員長 伯爵德川達孝君 副委員長 子爵立花種恭君

○公爵德川家達君 是ヨリ商法施行法案ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、退席ヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衞篤麿君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、

明治三十二年度歳入歳出豫算追加案、第三號、竝明治三十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案、特追第三號、審査期限ヲ定ムルノ件、第二、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約トナスヲ要スル件追第二號、審査期限ヲ定ムルノ件、之ヲ……

○男爵千家尊福君　未ダ委員長ノ出席モナイヤウデアリマスガ、此審査期限ハ本日ヨリ三日間トシテ來ル二十五日ノ議場ニ報告スルヤウニ致シタイト考ヘマス

○男爵中川興長君　贊成

○男爵金子有卿君　贊成

○議長（公爵近衛篤麿君）　然ラバ其通ニ決シマス、沖縄縣土地整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（小原書記官朗讀）

沖縄縣土地整理法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年二月二十日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

衆議院議長片岡健吉

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

第三條　地割配當ノ統並ノ爲現ニ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ受クヘキ者ニハ其ノ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ負擔スヘキ者ヨリ相當ノ土地ヲ交付シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス

村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ地割シタル土地ニシテ村ノ所有トナラサルモノヲ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ニハ其ノ村持地ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ヨリ相當ノ土地ヲ交付シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　村ノ百姓地、地頭地、「オエカ」地、「ノロクモイ」地、「キナワ」畑ニシテ村又ハ與ヨリ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタルモノハ其ノ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ於ケル地割ノ配當ヲ受クヘキ者ノ共有トス但シ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償不納ノ場合ノ外取戻スコトヲ得サル浮掛又ハ叶掛ノ土地ハ村又ハ與ヨリ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

前項ニ依リ共有トナルヘキ土地ニ付此ノ法律施行前ニ成立セル浮掛又ハ叶掛ノ關係ハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍存續ス

第一項ニ於ケル共有者ノ持分ハ第二條ニ於ケル地割ノ率ニ依ル

第一項但書ニ依リ所有ヲ得タル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ對シ報償ヲ爲シ且第二十三條ニ依リ地租ヲ徴收セラルル迄從前ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ交付スルコトヲ要ス

第二十一條　土地整理ニ關スル處分ニ付不服アル者ハ處分ヲ受ケタル後九十日以内ニ當該官廳ニ申立ツルコトヲ得但シ第十九條ノ場合ハ此ノ限ニアラス

（政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（目賀田種太郎君）　沖縄縣ノ土地ハ慶長年中ニ土地ノ面積ヲ丈量致シマシテ租税ノ高ヲ極メタノデゴザイマス、然ル處其後三回程石盛リヲ增シマシテ面積ハ改マラナカッタ、終リニ於テ丁度元文三年ノ頃ニ總體ノ面積ヲ丈量致シタト云フコトニナッテ居ル、サウ云フ風ニ面積ノ丈量ハ餘程古イコトニナッテ居リマスノニ租税ノ賦課ハ其上々々ヘト賦課シテ參ッテ居ル姿デアル、ソレ故ニ段々御承知モゴザイマスル如ク兩先島アタリニ於キマシテハ此地租ニ換ヘルノニ人頭税ヲ以テシテ居ル譯デ、又地租ニ換ヘルノニ擔保税ヲ以テスルコトニナッテ居リマス、故ニ今日沖縄縣ノ租税ノ制度ハ實ニ租庸調混合シテ居ル譯デアリマス、段々調査致シテ見マスル所ガ其紛亂錯雜ナル實ニ名狀スベカラサル有樣デゴザイマスル、デ段々此沖縄縣ノ一體ノ制度ヲ整理致シマスルニハ先ヅ以テ租税ノ制度ヲ整理致サヌケレバ其實ヲ擧ゲルコトハ出來ナイノデ、又此租税ノ制度ヲ整理致シマスルニ附イテハ先ヅ以テ土地ヲ丈量シテサウシテ今日行レテ居ル所ノ所有權ヲ認定致シマセヌケレバ其實ヲ擧グルコトガ出來ヌ、ト申シマスルモノハ本案ノ第二條ニ掲ゲテアル土地ノ如キハ古來沖縄縣ノ慣習ニ依ッテ村ニ於テ其地面ヲ預リマシテ其村ノ人卽チ、地人ニ對シテ地割ヲ致シテ居ル、ソレ故ニ表面ノ所ハ銘々ガ占有ヲ致シテ居ル如クデハアリマスケレドモ誰ノ所有ト云フコトハ極ッテ居ラヌ譯デアリマス、故ニ此第二條ニ依リマシテ其習慣ニ基ケル所ノ徴收ノ種類ハゴザイマスケレドモ今日占有シテ居ル所ノ實況ヲ認メテ從ッテ所有權ヲ認定スルト云フコトガ必要デアルノデゴザイマス、第二條ニゴザリマスル土地ハ此「オエカ」地ト申スノハ是ハ役人ノ役地デゴザイマスノデ、又次ニゴザイマスル所ノ「ノロクモイ」地ト云フノハ是ハ巫ノ如キモノ、卽チ此神官ノ持ッテ居ッタ土地ニ係ルノデ是等ハ皆此タビ其所有權ヲ認定致スコトデアリマスル、左樣致シタ上ニ附イテハ此各人ノ所有權モ極リマスルシ、ソレヨリ從ッテ土地ヲ丈重シテソレカラ地租ノ制度ヲ定メルト云フコトニナル、實ニ此案ハ沖縄縣ノ人民ノ休戚ニ關ル所ノ重要ナル案デゴザリマスル、序ヲ以テ申上ゲマスルガ沖縄縣ノ臨時土地整理局ニ於キマシテハ追ミ此丈量ヲ致シテ地租ノ改正ヲ致ス所ノ準備ニ著手致シテ居リマシテ成ルベク丈量ノ如キハ同地ノ人ヲ以テ其コトニ從事セシメタイト云フ希望ヲ持ッテ鋭意其コトニ著手シテ居ル際デゴザイマス、幸ニ此案ハ同縣ノ一般ノ租税ノ整理ヲ得セシメシテ又人民ノ權利ヲモ確メマスル所ノ案デゴザイマスルカラ愼重ニ御審議ヲ下サレテ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君　本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定アランコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君　贊成

（其他「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

ソレデハ……取引所法中改正法律案、政府提出、第一讀會

（小原書記官朗讀）

取引所法中改正法律案

右勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年二月二十日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

農商務大臣　曾禰荒助

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

取引所法中改正法律案

取引所法中左ノ通改正ス

第十一條第一項中「株主」ヲ削ル

附　則

此ノ法律ハ明治三十二年七月十七日ヨリ施行ス

〔政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（藤田四郎君）　新條約ヲ實施致シマスルニ附キマシテ御承知ノ通新條約ハ段々開放主義ヲ取リマシテ對等ノ方針ニ出テ居リマスルノデ從テ彼我共ニ凡ソ同ジヤウナル方針ニ依ッテ其利益便益ヲ受ケルヤウニナラネバナリマセヌ、取引所ノ法律中現行ノ所デハ株主ニナリマスルコトハ外國人ハ出來ナクナッテ居リマスルガ、日本人ガ外國ニ至リマシテモ普通ノ株式會社ノ株主トナルコトガ出來ルコトデゴザイマスルカラ我邦ニ於テモ之ヲ削除スル方ガ穩デアルト云フコトデアリマシテ本案ヲ提出セラレマシタノデゴザイマス、左樣御承知ヲ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　別段御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵生駒親忠君　此特別委員モ議長ニドウカ……

○男爵金子有卿君　贊成

○三浦安君　贊成

○議長（公爵近衛篤麿君）　議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤麿君）　噸稅法案、政府提出、衆議院送付、第二讀會

○伯爵吉井幸藏君　本員ハ意見ヲ一ツ述ベタイノデゴザイマスルガ其前ニ於キマシテ少シ確メテ置キタイコトガゴザイマス、噸稅法案特別委員少數意見トシテ二月十八日附ヲ以テ印刷物ヲ議員ニ配付ニナリマシタ此少數意見ガ有效デゴザイマスモノデゴザイマスカ、或ハドウ云フモノデゴザイマスカ、先ヅソレヲ一ツ伺ヒタイノデ、此委員會ノ決議ノ當日ニハ委員ノ一名ガ缺席デゴザイマシテ八名出席致シマシタ、其委員長ヲ除ケマスルト七名デアル其四名ハ……

〔男爵西五辻文仲君「ドウモ分リマセヌ、演壇デ願ヒマス」ト述フ〕

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君　本員ガ今確メテ置キタイト申シマスルノハ噸稅法案ノ特別委員少數者ノ意見トシテ二月十八日ニ印刷物ヲ議員ニ配付サレタノデアリマス、是ハ果シテ有效ナモノデアルカナイカト云フコトヲ確メテ置キタイ、ソレデ委員會ノ決議ノ當日ニハ委員ガ一名缺席デアリマシテ八名出席デアッタノデ、其中委員長ガ一名デアリマスルカラアト七名、其中四名ガ委員會ノ修正說ニ贊成デアッテ三名ハ反對デアッタ、此三名ガ後日ニ至リマシテ少數意見ヲ提出サレタ譯デアリマス、然ルニ此印刷物ニハ四名ノ連記ニナッテ居リマシテ其中赤松男爵ハ決議ノ當日ニハ缺席デアッタ、然ルニ出席員ト同樣ニ此少數者意見ノ中ニ加ヘテ連記サレテアル、ソレデ是ガ許サレルモノデゴザイマシテ有效ノモノトナリマスルト若シ委員會ニ於キマシテ二名缺席ガゴザイマシタトキニ三名ト四名デ多數少數デ極リマシテ其後委員會ガモウ散會シテシマッタ後ニアトノ缺席シタ二名ガ若シ少數者ト同樣ノ意見デアリマシテ少數者意見ヲ提出サレルコトニナリマスルト卽チ其少數者ノ方ガ多數ニナルヤウナコトニナルコトモナイトモ云ヘヌ、此邊ハドウ云フモノデアルカ、本員ニ疑ガアリマスニ依テ此磯邊君抔カラ提出サレマシタ少數者ノ意見ト云フモノガ有效デアルカ、ナイカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレデ本員ハ去ル十八日本會議ノ時水野君又千家男爵ヨリ質問ニナリマシテ議長ノ御答ニ磯邊君ノハ矢張一ノ修正動議デアルカラ矢張二十名ノ贊成ガナケレバ本當ノモノニハナラナイ、斯ウ云フ御答デゴザイマシタカラ今マデハ左樣ニ心得テ居ルノデハゴザイマスルケレドモ果シテサウ心得テ居ッテ宜シイカ、宜シクナイカ、ソレヲ一ツ確メテ置キタイ、斯ウ云フノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君　議長

○議長（公爵近衛篤麿君）　曾我子爵ハドウ云フノデアリマスカ

○子爵曾我祐準君　今ノ吉井君ノ御議論ハ少シ聞取兼ネマシタガ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　宜シウゴザイマス、是ハ議長ニ向ッテノ質問デアラウト思ヒマスカラ本席カラ答ヤウト思ヒマス、私ガ答ヘレバ自カラ明瞭ニナラウカト思ヒマス

○子爵曾我祐準君　宜シウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　吉井伯爵ニ御答シマスガ御說ノ通此少數意見中ニ缺席者ノアッタコトハ議長ニ於テハ承知ヲシナカッタノデアリマスガ貴族院規則ノ第四十二條ニ依リマスルト出席ノ三分ノ一デナケレバナラヌノデアリマスカラ赤松男爵ガ缺席デアリナガラ少數意見ニ加ッタノハ是ハ無效デアリマス、併ナガラ九人ノ委員ノ三分ノ一ハ卽チ三人デアリマスカラ赤松男爵ヲ除カレテモ此少數意見ハ有效ノモノト認メマス、サウシテモウ一ツノ御尋ハ此少數者意見ト云フモノハ矢張定規ノ贊成ヲ出サナケレバ無效デアルト云フコトヲ此間議長カラ申シタ、ソレデアルカラ此少數意見ト云フモノハ消滅シタカノ如クニ吉井伯爵ハ今述ベラレマシタガサウデハナイノデアリマス、此場合デハ委員會ノ多數ノ意見ト卽チ委員會ノ修正トハ全ク別ノトコロノ修正デアリマスカラ殆ド委員會ノ修正トハ牽聯シテ居ラヌモノデアリマス、ソレデアルカラ矢張定規ノ贊成ヲ要スルモノト議長ニ於テ申シテソレデ更ニ定規ノ贊成ヲ得テ別ニ提出ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ大略御了解ニナッタト考ヘマスガ尙ホ御分リニナラヌナラバ再三御答シマス

○伯爵吉井幸藏君　能ク分リマシタ、ソレデハ是カラ意見ヲ述ベマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　吉井伯爵ニ申シマスガ御意見ナラバ修正意見ガ出テ居リマスカラソレカラ先キニ……

○男爵末松謙澄君　チヨット伺ヒタウゴザイマスガ此委員會ノ報告トソレカラ少數意見トガ黙ガ違ッテ居ルトキニハ其少數意見ト云フモノハ少數者報告ノ方ニ見ズシテ此議場デ以テ出ス他ノ修正ト同樣ニ見ルト云フヤウナ此說明ノヤウニ伺ヒマシタガサウデゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數意見ト云フコトハ認メルノデアリマス、兎ニ角委員會ニ於テ一旦出タ說デアリマシテ其說ガ消滅シタ其說ヲ主張サレルノデアリマスカラ少數意見ト認メテ宜カラウト思ヒマス、併ナガラソレハ委員會ノ多數ノ意見ト云フモノト委員會ニ於テ修正シタ箇條トガ別ノ事柄デアリマスレバソレハ定規ノ贊成ヲ得テ別ニ提出サレナケレバ手續上不都合デアラウト思ヒマス

○男爵末松謙澄君　ソコヲ少シ研究シナケレバナラヌト思ヒマス、例ヘバコノ一箇條ヲ削除スルト云フ少數說ガアッテソレガ成立ヌトキニハ此多數ノ委員意見ニハ其コトガ乘ラウ譯ガマアナイト見ナケレバナラヌ、併ナガ

ラ互ニソコデバカリ討論シテ一方ハ多數デアリ一方ハ少數ニナッタト云フコトニナル、然ラバ此出タトコロノ形ハマルデ同シトコロデナクシテモ矢張相率聯シタモノト此少數意見ハ見ナケレバナラヌト考ヘル、ソコデ此少數意見ト云フガ……委員ノ多數ガ報告シ少數ノ報告ヲシタルモノハ其形ノ上ニ於テ同ジ點ヲ一方ハ白一方ハ黑ト限ラナイモノニシテモ全體ノ上ニ附イテ多數ノ意見ハ多數ノ意見、少數ノ意見ハ如何ナル場合デモ少數意見ト云フモノニ同一ノモノト見テ行カナクテハ實際扱ノ上ニ附イテ妙ナモノニナリハセヌカトチョット今考ヘマシタガ是ハ私ガ熟考シテ述ベタノデハナイ、今ノ御説明ト御質問ヲ聞イテドウモサウシナイト工合ガ惡クハナイカト云フコトヲ感ジマシタ

○議長（公爵近衛篤麿君）　削除云々ト云フコトデゴザイマスレバ是ハ此案全部ニ影響スルコトデアリマスカラ或ハ委員會ノ説……委員會ノ多數ノ説ト少數者ノ説トガ所謂御説ノ通ノ白ト黑ト云フ鹽梅ニ分レタ場合ト見テ宜カラウト思ヒマス、サウシテ委員會ノ方ノ修正ハ例ヘバ三條ト四條デアル、然ルニ少數者ノ意見ハ第一條デアルト云フヤウナ場合ニハ全ク別ノコトデアルノデアリマスカラソレハ……

○男爵末松謙澄君　併シチョット私ガ聞キマスニ成ル程委員會ノ多數ノ報告ハ例ヘバ三條四條デアル少數者ハ一條デアルト云ヘバ其形ダケノトコロハ違ッテ居ル、併ナガラ若シ一條ニ於テ修正シヤウト云フコトヲ此少數ノ者ガ委員會ニ於テ申立テ然シテソレガ行ハレナイデアッタトキニ其少數意見トシテ申出シタルトキニハ矢張三條四條ノ修正ニ於テ意見ヲ異ニスルモノト見テ行カナクテハナラナイデハアリマスマイカ、但シ少數意見ト云フモノガ第一條ニ就イテ修正ヲ持出シテ其修正説ハ委員會デ一向發議シタコトデナイ討議シタコトデナイ以上ハ少數意見ト云フコトハ出來マセヌ、併シ委員會デ議シタコトデアル以上ハ假令三條四條デ意見ガ違ッタニシテモ別ノ第一條ノ所デ意見ガ違フニシテモ其意見ガ違フ云フコトニ變リハナイノデ事柄ハ同ジモノト見ナケレバナラヌ、其間ニ區別ヲ附ケルト云フコトハ餘程妙ナモノデアラウト思フノデアル、如何トナレバ三條四條ニ就イテ意見ノ違フト云フコトガ如キ別々ノトキナラバ宜イガ玆ニ第一條ノ如キ關係ノナイ所ト第三條第四條ノ如キ關係ノアル所ト混淆シテ居ルト云ヤウナル場合ニ當ッテ此段ハ關係ヲ有セヌカラ少數意見ト見ルコトハ出來ヌ、此段ハ關係ガアルカラ少數意見トシテ宜イト云フヤウニ區別ヲ附ケナケレバナラヌト云フヤウナ妙ナコトガ起ッテ來ルデアラウト思ヒマス、故ニ是ハ決シテ區別ヲ附クベキモノデハナイ同ジク少數意見ニ違ハナイト思フノデアリマス、故ニ此コトハモ少シ御熟考ニナッテハドウカト思ヒマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數意見トシテ報告ニナルコトニ異議ハナイノデアリマスガ是ガ動議トシテ議場ニ成立ツト云フコトニ附イテハ定規ノ贊成ガナケレバイケマイト考ヘタノデアリマス、併ナガラ御説トハ全ク根底ガ違フヤウデアリマスカラ御説ノヤウニシヤウト云フコトデアレバ是ハ法文ノ不明ニ基クコトデアリマスカラ過日アナタガ御出シニナッタヤウニ議院ノ慣例ヲ作ルタメニ決議デモシテ置クコトガ必要カモ知レマセヌ、併ナガラ其疑義ニ附イテハ議長ノ解釋デハ今申スヤウナ解釋ヲ取ッテ居ッタノデアリマス、併シ將來ニ於テアナタノ御解釋ノ方ガ適當ト云フコトニ多數ノ諸君ガ御認ニナレバ無論ソレガ慣例ニナルデアラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君　本員モ末松君ト同ジヤウニ思ヒマス、若シモ少數意見者ガ委員會ニ於テ發言シナイ卽チ修正ヲ企テナイ所ノ少數意見ナラバソレハ當然定規ノ贊成ヲ得テ特別ニ出サネバナラヌト思ヒマスガ委員會デ出シテ潰レタ説デアル以上ハ假令多數意見トハ全ク別ノ條項ニシテモ少數意見ニ相違ナイ、此ノ如キモノハ當然少數意見トシテ三分ノ一以上ノ人ガアレバ出サレルニ相違ナイ、本員ハソレガタメニハ特ニ決議ヲ要セヌ、當然サウデアルト信ジテ居リマス、先刻末松君モ辯ゼラレマシタル如クマルデ違ッタ條項デアル或ハサウ云フ疑ガアルカ知レマセヌガ、相關聯シタ條項ノ出タトキニハ餘程妙ナモノニナッテ到底ソレヲ取扱フコトガ出來ヌヤウニナリマスカラ、委員會ニ於テ出タ説デアル以上ハ定數ノ人ガアレバ少數意見トシテ當然二十名ノ贊成ニナクトモ提出セラルヽコトヽ信ジマス、之ニ附イテハ少モ疑議ハナイコト、本員ハ信ジテ居リマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數意見トシテ提出スルト云フコトニ附イテハ議長ニ於テモ異議ハ申シテ居ラヌノデ、唯ソレガ動議トシテ議場ニ成立ツヤ否ヤト云フトキニハ是ハ定規ノ贊成ヲ要スルト云フ議長ノ考デアッタノデス

○子爵曾我祐準君　定規ノ贊成ハ當然要ルマイト思ヒマス、少數意見者ガ九人ニ對シテ三人アレバ當然少數意見トシテ採用ニナルベキモノト思ヒマス

○子爵岡部長職君　本員モ曾我子爵ト同ジ考デアリマス、既ニ三分ノ一以上アレバ少數意見トシテ少數者ノ意見ヲ提出スルダケノ權ヲ與ヘテアル以上ハ其提出ハ卽チ議場ニ提出スルノデアルカラ、ソレガ一ノ修正案トナルト云フコトハ疑ナイコトデアル、若シ少數者ガ別ニ二十名ノ贊成者ヲ得テ修正案ヲ提出シナケレバ成立タヌト云フコトデアルナラバ初カラ少數意見ヲ出ス必要ガナイノデアル、ソレデナケレバ初ニ出シタ少數意見ノ效力ガナクナッテシマウノデ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　無論效力ハナイノデアリマス

○子爵岡部長職君　私ハ既ニ出スコトヲ許シテアル以上ハ效力ノアルモノト見テ相當ノコト、思ヒマスカラ矢張曾我君ニ同意デゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　岡部子爵並ニ曾我子爵ニ申シマスガ、此少數意見ノコトデアリマスルガ、甚ダ取扱上ニ困ルト申シタノハ斯ウ云フ箇條ガアルノデ、貴族院規則ノ九十九條ニ「議員ノ提出シタル修正案ハ委員會ノ提出シタル修正案ニ先チテ決ヲ採ルヘシ」トアリマス、斯ウ云フ場合ニ忽チ差支ヲ生ズルノデアリマス、一讀會ノ場合ニ……

○三浦安君　唯今ノハ御説ガ出マシテ以來本員モ考ヘマシタノデゴザイマスガ、既ニ少數意見ト云フ名義ヲ以テ出シタ以上ハ少數意見デ成立ッタモノト見ネバナリマセヌ、又少數意見デナシニ出シマスナレバ無論二十名ノ贊成ヲ得テ出サネバナリマセヌ、然ルニ此噸税法ニ關スル修正意見ハ卽チ少數意見ト云フコトデ以テ、出サレテ居ル、然ラバ既ニ成立ッタモノト見ネバナリマセヌ、此二ツデ御考ニナレバ兩立セヌト云フコトハ分ッテ居ルデアラウト思ヒマス、少數意見トナッタレバ既ニ成立ッタモノ、少數意見デ出サズニコヽノ修正意見デ出ストキニハ二十名ノ贊成ヲ得ネバナラヌト云フコトデアリマスレバ此兩方ガ衝突セヌヤウニ御考ニナッタレバ分明ニ御分リニナルデアラウト思ヒマス、御再考ヲ願ヒマス

○子爵岡部長職君　唯今御引キニナッタ九十九條ノ採決ノ場合ニハ少數意見ノ方ヲ先ニ採決スルト云フコトニナッテ居リマス、少數意見ノ方ヲ先ニ採決スルト云フトキニハ卽チ正式ノ委員ノ報告ガ逐條ニ亙ッタル報告デアルナラ

バ第一讀會ニ於テハ二讀會ニ移スベキモノトシテ二讀會ニ於テ各條ノ修正ニ就イテ決スルコトニナル、サウスレバ少數意見モ亦逐條ニ亙ッタ少數意見ガ出テ居ル以上ハ二讀會マデハ委員ノ報告ト共ニ移シテソコデ少數意見ト委員ノ報告ト二ツアルトキナラバ逐條ニ就イテ少數意見ノ方ヲ先ニ採決スル方ガ相當デ……

○議長(公爵近衛篤麿君)　ソレハ二讀會ノ場合デアリマセウ

○子爵岡部長職君　左樣デアリマスカラ少數意見モ逐條ノ場合委員會ノ報告モ逐條ノ場合ナラバ少數意見ト委員會ノ報告ト共ニ二讀會ニ移シテ相方共ニ二讀會ノ議案トシテ成立ッテ居ルモノト見テ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　少數意見ノ提出セラレル場合ハ一讀會ノ續ヲ開ク場合ニ出スノガ正式ノ手續デアリマス

○子爵岡部長職君　少數意見ガ逐條ニ亙ッタ少數意見デアッタナラバ矢張二讀會ニ移ッテモ其少數意見ハ消エタモノデハナイト見テ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　少數意見ハ無論活キテ居ルノデアリマス

○子爵岡部長職君　サウスレバソレガ卽チ修正案ト見テ宜カラウト思フ

○議長(公爵近衛篤麿君)　併ナガラ委員ノ多數ノ意見トマルデ關係ノナイ少數意見デアルナラバ矢張定規ノ贊成ヲ得ナケレバドウシテモ一ノ動議ト云フコトハ出來ヌデアラウト思フ、ソレハ議長ノ見解デアルノデアリマス

○子爵岡部長職君　本員ノ考ハ唯今申上ゲタ通デアリマス

○久保田讓君　本員モ唯今岡部子爵曾我子爵末松男爵ト同感デアッテ、先達以來頻ニ斯ウ云フコトガアリマシテ大イニ疑ッテ居リマシタガ、少數意見トシテ出マスレバ無論成立シテ居リマスノデ一向差支ナイ疑ナイト思ッテ居リマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　諸君ノ御意見ノ如クニ往ケバ單純デ議長モ喜ブノデアリマス、併ナガラ取扱上ニ甚ダ差支ヘル所ガアルヤウニ考ヘマスカラ誠ニ鄭重ナ面倒ナ手續ヲシヤウトシテ居ルノデアリマス

○子爵岡部長職君　此コトハ如何デゴザイマセウカ、議長ノ御見解ト我ミノ解スル所ト少シ違フ所ガアリマスヤウデゴザイマス、滿場諸君モ隨分御疑ノ方ガ多クアラウト思ヒマスカラ、此問題ハ後トヘ延バシテ次ノ議事ニ御取掛ニナル譯ニハ往キマスマイカ、是ハ一ツ御調査ノ上御極メヲ願ヒタイ

○議長(公爵近衛篤麿君)　ソレハ至極御同意デアリマス、斯ウ云フコトハ餘程明ニシテ置キマセヌト、隨分混雜ヲ起スコトデアリマスカラ

○子爵岡部長職君　左樣デアリマスカラ御延バシニナッタラ宜カラウト思フノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　岡部子爵ノ御說ハ至極穩當ナコト、考ヘマスカラ後トヘ回シマシテ尙ホ能ク議長室ニ於テ御協議ヲスルコト、シマシテ、ソレデハ是ハ御異議ガナクバ後トニ回スコトニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○水野遵君　唯今ハ二讀會ノ第一條ニ移ッテ居ルノデゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君)　次ノ日程ニ變リマシタ、醤油稅則中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君　諸君、此醤油稅則改正ノコトハ御承知ノ通誠ニ單簡ナ事柄デ、大分此條項ハゴザンスケレドモ併ナガラ是ガ皆モウ何モ議論ヲスベキヤウナ箇條デアリマセズ、委員會ニ於キマシテ專ラ議論ノゴザイマシタノハ是マデノ一圓ヲ二圓ニスルト云フト自家用ノモノハ全ク無稅デアッタモノヲ制限ヲ附ケテ一石以下ノモノハ全ク無稅ニシ、一石以上ノ自家用ノモノハ半額卽チ一圓ヲ課スルト斯ウ云フコトニ卽チ原案ハナッテ居リマスル、デ之ヲ議シマスルニ當リマシテカラニ、政府委員ノ說明ヲ承リマスルト、モウ此議案ニ於テハ理窟モ何モナイ唯補塡案ガ必要デアル是非是ダケノ稅ヲ取ラナイト仕樣ガナイカラシテ、ソレデ稅ヲ增スト云フニ止マルト斯ウ云フ論デアリマシテ、稅ノ性質ニ就イテ是ガ適當ノ性質デアル不適當ノ性質デアルト云フヤウナ理窟デハナイ、政府ニ於テモ醤油稅ハ餘リ穩當ナモノトハ見テ居ラナイヤウナ口氣デアリマスル、併ナガラ他ニ是ト云フノ適當ナモノモナイカラ先ヅ之ヲ倍ニシテ取ッタナラバ凡ソ百四五十万程ノモノガ取レル、其百五十万程ノ金ノ必要ヨリシテ已ムヲ得ズ是ヘ課ケルト云フヤウナ先ヅ簡短ナル說明デゴザンスル、デ委員會ニ於テハ之ヲ贊成スル人ハ今日ニ至ッテハ最早仕方ガアルマイ、固ヨリ十分トハ認メヌケレドモ併ナガラ最早醤油稅ノ一圓ヲ二圓ニスルト云フコトハ致方ガアルマイ、カラシテ同意ヲスルト斯ウ云フ說デゴザンスル、其中ニ又或ル委員ニ於テハドウモ是ハ兎モ角モ醤油稅ハ穩當ナラヌ稅デアルカラシテハ年限ヲ附ケテハドウカ五年トカ六年トカ金ノ必要上差向ノ所據ロナイカラ年限ヲ附ケテハドウカト云フ說モ出シタケレドモ、是レ亦少數デ成立チマセヌ、結局スル所原案ヲ可トスルト原案ヲ否トスルトノ二ツニ別レマシテ雙方四人ニナリマシテゴザンスル、雙方四人ニナリマシタ所デ委員長ハ此醤油稅ヲ增スト云フコトニハ反對デアリマスルカラシテ卽チ委員長ノソレヘ加リマシタガタメニ原案ハ委員會デハ消滅ト云フコトニナリマシテゴサンスル、デ別ニ一向之ニ對シテ名論ト云フモノハ到底ゴザイマセヌ、是ダケノコトヲ御報告致シテ置キマス、ソレデ御報告ハ先ヅ短簡ニソレニ止メマスル、私ハ之ニ對スル反對ノ意見ヲ是レ亦極短簡ニ申述ベテ置カウト存ジマスル、此醤油稅ハ御承知ノ通全體初ヨリ一圓ト云フガ餘程無理ナ稅デ必要缺クベカラザルモノ、中デモ最モ是ハ必要ナモノデアリマシテ最初一圓ノ稅ヲ掛ケルトキデスラ隨分元老院アタリデモヤカマシイ議論ガアッタサウデスケレドモ遂ニ一圓ヲ掛ケルト云フコトニナッテ取ッテシマウテ居リマスル、是ハ議院デモアッタトキナラバ必ズ其時分ニモヤカマシイ議論ガアリマシタラウケレドモ其時分ハ單ニ元老院デ決スル位デアリマシタ故ニ强テ酷イ議論モナカッタヤウデアリマスデ、チヨット其時分ニ誰ガ拵ヘタコトデアリマシタカ、所謂俗ニ狂歌見タヤウナモノガ出來テ居ル、是デモ卽チ此醤油稅ノ不可ナルコトガ分ッテ居ルカラソレヲチヨット御話ヲ致シテ皆サンノ御參考ニ供シヤウト思ヒマス、其時分ニ丁度改正ニナリマシタノガ明治二十二年ノ五六月頃ト思ヒマスガ「カラクトモ今更何トシヨウコウヤ甘ク通スガコレガオカシイ」其トキニ此菓子ノ稅ト醤油ノ稅トガ改正ニナッタ、ソコデ其菓子ノ稅ハドウカト云フトヤカマシイ議論デアッテ是ハ遂ニ廢サレテシマッタ、此方カラ行ケバ醤油稅モ今日ハ廢セラレナケレバナラヌ理窟デアル、所ガ豈ニ圖ランヤ菓子稅ハ廢セラレタガ醤油稅ハカライモノニ又一層カラクスルト云フ稅デアル、餘程是ハオカシイ譯デアル、ソレデ酒、煙草、砂糖ト云フモノハ是ハ隨分議論ノアルモノデ詰リ必要品ニ相違ナイケレドモ是ハ極貧民ノ者ナレバ飲マズトモ吸ハズトモ先ヅ事ノ足ルモノデアルガ醤油ト云フモノハ

御承知ノ通假令極貧ノ者ト雖モ一日ニ幾滴カ舐メネバナラヌモノデアル、ソレデ詰リ醬油ニ稅ヲ掛ケルト最早鹽ニモ稅ヲ掛ケルト同ジコト、ソコデ醬油ニ稅ヲ掛ケル、是マデ酷ニ取ラウト云フコトニナルト其結果ハドウナルカト云フト今度ハ何ヘ掛ケルカト云フト味噌ニ掛ケルト云フコトガ來ル、田舍ノ農家ニ於テハ家ミ皆此醬油ヲ造ッテ居ルデアリマス、ソレニ倍ノ稅ヲ掛ケヤウトスルト營業者ハドウカト云フト次第ニ我營業ノ區域ヲ狹メラレテ自家用料ト云フモノガ段々殖エルト營業者ハ困ル、營業者ハ困ルト又是非自家用料ヲ止メテ呉レ、丁度酒ノ自家用料ヲ止メタ如クニ醬油ノ自家用料ヲ止メテ呉レロト云フ論ガ起ッテ來ル、サウシテ若シ之ニ非常ナ制限ヲ附ケテ農家ノ自家用料ノ醬油ヲ止メルコトニナルト其苦痛タルヤ實ニ言フベカラザルモノニナル、ソレデ其取ル所ノ金ハドノ位デアルカト云フト漸ク百四五十万圓ニ止マル、ソレデ其位ノ金ヲタメニ上富貴ヲ極メタ人ヨリ下一ツノ椀ヲ提ゲテ生活ヲスル者ニ至マデ殆ド平等ニ負擔スル所ノ稅デアル、斯ノ如キ辛イ稅デカライモノニ掛ケルノハ實ニ是ハ忍ビナイ譯デアリマス、ソレデ本員抔ハ卽チ反對論者ノ一人トシテ絕對ニ承知ガ出來ナイノデアル、日本ガ如何ニ困窮ヲシタト言ヒマシテモ今日此行政上ノ組織ノ有樣、且ツ又官吏社會及我ミ社會ノ所ヲ考ヘテ見マスト斯ノ如キ些細ナル過酷ナル稅ヲ取ラナクトモ政費ノ節減ノシヤウモアラウト思フ、或ハ又聞ク所ニ據レバ衆議院抔デハ歲費ヲ增ス抔ト云フ說モアル、若シ聞ク所ノ如ク歲費ヲ增ストキハ七八十万圓カラ百万圓近イ金ガソレニイル譯デアル、サウ云フヤウナ贅澤ナ論ノ起リ居ル際ニ此過酷ナル醬油稅ヲ取抔ト云フコトハ以テノ外ノ事柄デアル、ソレデ斯ウ云フコトハ御考ニナッテカラニドウゾ否決サレンコトヲ希望致シマス、詰リ此百万二百万ノ儉約ハドコデモ出來ル、八千万圓位ノ歲入カラシテ段々進ンデ今日二億幾千万圓ト云フ大キナ歲入ニナッテ居ルカラ之ヲ融通シテ來レバ詰ラナイ稅ヲ取ラナクトモ出來ル譯ト思フ、ドウゾ此委員ノ報告通否決アランコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　天春君ハ何デスカ

○天春文衞君　發言ヲ求ム

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

○天春文衞君　此際政府委員ニ質問シテ置キタイ

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

○天春文衞君　此衆議院ヨリ送付ニナリマシタ所ノ第二條ノ造石稅ノ下ニ在リマス此溜ト云フノデアリマスガ、此溜ハ全體全國デ何石稅アリマシテサウシテ此二番溜ト云フモノハ矢張是マデ習慣デ稅ヲ課シテ居ッタサウデアリマスガ、此二番溜ノ石數ト全體ノ溜ノ石數トヲチヨット承リタイ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（若槻禮次郎君）　溜ノ造石數ハ全國デ十一万五千八百四十四石九斗一升七合ト云フコトニ三十年ニハナッテ居リマスノデ、其中デ二番溜ト云フモノハドレダケアルカト云フコトハ茲ニ調ガ出來惡ウゴザイマスガ、全體ノ造石數ハ唯今申上ゲマシタヤウナ石數ニナッテ居リマス

〔渡邊洪基君發言ヲ求ム〕

○議長（公爵近衞篤麿君）　少數意見デスカ

○渡邊洪基君　左樣

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

〔渡邊洪基君演壇ニ登ル〕

○渡邊洪基君　醬油稅則中改正法律案ノ特別委員會ニ於キマシテノ經過ハ既ニ委員長ヨリ御報告ノ通デアリマスガ然ルニ我ミハ……

〔子爵本莊壽亘君「モウチット大聲ニ願ヒマス」ト述フ〕

我ミハ是ニ對スル少數意見ヲ提出シタ譯デアリマス、其理由ヲ極簡單ニ申述ベマスガ詰リ此醬油稅ト云フモノハ甚ダウルサイ稅デアリマシテ殊ニ今度此自家用料ノ醬油ナゾヘマタ制限ヲ加ヘルナゾト云フコトニナルト最モ此煩雜ノ稅デアル、且ツ又是ハ日用必需ノモノデアリマスシ、ソレデ此高ト申スノモ至テ僅ノ高デアリマシテソレニ更ニ稅ヲ掛ケルト云フコトハ甚ダ歎カハシイ次第デアルノデス、併ナガラ今日モウ既ニ歲出モ極ッテアリマシテ外ニ補塡ノ途ガナイトスル以上ハ之ヲ否決スレバ之ニ代ルベキ何カ物ヲ出サナケレバナラヌ、然ルニ代ルベキモノハ段々色ミ研究ノ末斯ウ云フ窮シタモノニ極メタノデアリマスカラ更ニ成ル程ト思フヤウナ代ルモノハ今日見出スコトハ出來ヌソデアル、シテ見マスレバ今日ノ處之ヲ贊成スルヨリ外ニ致方ハナイト考ヘテ我ミハ贊成シテ少數意見ニナッタノデアリマス、勿論此委員中ニハ先程委員長カラ申述ベラレマシタ通ドウモ餘リ何デアルカラシテ年限ヲ切ッタ宜カラウト云フヤウナ說モアリマシタ、併ナガラ此年限ヲ切ルト申シタ所ガ其目的ガチヤント定メテ置イテ極メナケレバ年限ヲ切ッテモ詰リ無效デアルシ、又成ルベク早ク年限ナゾヲ極メズトモ斯ウ云フヤウナ稅ハ成ルベク早ク除ケテ仕舞ヒタイ、斯樣ナモノハ殆ド無稅ニシタイ……掛ケル處ヂヤアナイ無稅ニシタイ、ソレ等ノコトハ一日モ早クシタイモノデ、ソレニ附イテハ卽チ歲出ヲ減ズルカ更ニ他ノ財源ガ出來ルヨリ外致方ハナイ、其途ガ附キマスレバドウゾ一日モ早ク之ヲ減ジ若クハマルデ廢スルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、併シ今日ノ處ハドウモ致方ガナイカラ之ニ贊成ヲシタト云フコトニナリマス、ドウゾ諸君此意ヲ御了解ニナリマシテ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○三浦安君　政府委員ニ質問致シマスガ、此補足ト云フ都合ニ依ッテ醬油稅ヲ今ヨリ上ニ增稅ヲスルト云フノデ提出ニナリマシタガ其他ニ稅ノ課スベキモノハ何ニモナイト云フ御見込デアリマスカ、本員抔ノ見ル處ヲ以テ見マスルト砂糖稅ト云フモノハドウシテ御掛ケナサラヌカ、既ニ菓子稅マデ廢シテ居ル、菓子稅ヲ廢シタ上ハ砂糖稅ハ十分課スベキモノデアル醬油ハ今日細民ニ至ルマデ日用必要ノ品デアル、菓子ハ全ク贅澤物、隨分酒ニ次イデ課スベキハ菓子、砂糖、菓子稅ヲ廢スル以上ハ砂糖稅ヲ課ケラレテ此醬油稅ヲ增スニ及バズシテ出來ルデアラウト見ルノデゴザイマスガ、何故ニ砂糖ヲ措イテ醬油稅ヲ增スト云フ御見込デアリマスカ、質問ヲ致シマス

○政府委員（目賀田種太郎君）　三浦君ニ御答致シマスルガ、砂糖ハ其稅ノ徵收ニ於テ非常ニ煩勞デアリマス、又隨分經費ヲ要スルコトデアッテ得ル所少クシテ費ス所多ク甚ダ其不利益デアラウト思ヒマス、實ハ其稅法ヲモ取調テ見マシテゴザイマスルガ餘リ良案ヲ見マセヌ

○三浦安君　一應御答ハ分リマシタケレドモ其手數ガ煩雜ニシテ得ル所失フ所ヲ償ハヌト云フヤウナコトデ一應云ヘバサウ云フモノデアリマセウガ、ソレハ政府ノ巧者ナル仕方次第デ仕方ニ依レバ單簡ニ取レルカモ知レヌノデアル、ソコハ方法ヲ盡サヾルモノデアル其方法ヲチット講ジテオクンナサイ

○山脇玄君　私モ序ニ政府委員ニ質問致シタイノデアリマス、直接ニ此案ニ關係ハアリマセヌガ段々增稅案ガ色ミ出マシテ其收入ガ唯今ノ所デハ如何パ

カリニナリ居ルカト云フコトハドウモ本員共ニハ分リマセヌカラ此際ニ一應其色ミノ稅ニ依ッテ得ル所ノ諸稅ノ高ノ概略ヲ承ッテ置キマシタナラバ此案ニ贊成或ハ不贊成ヲ致ス材料ニナラウト考ヘマスルカラ此コトヲ一應質問致シマス、デ先ヅ第一ニ此政府ノ地租增徵案ガ衆議院デ修正ニナリマシタニ附イテ不足ヲ致シマス額ガ幾ラト云フコト、ソレカラ其次ニハ此酒造稅デ上ル所ノ其稅額、其次ハ此葉煙草專賣デ得ル所ノ增稅ノ高、其次ガ此印紙稅法、此印紙稅法デ幾ラ稅ガ增シマス、ソレカラ此登錄稅ノ改正デ幾ラ、ソレカラ日本銀行ノ課稅デ幾ラ上ル、ソレカラ所得稅ノ改正デ幾ラ上ルト云フヤウニ、勿論詳細ノコトハ承リマセヌデモ政府ノ唯今御見込ノ處デ其額ヲ御示ヲ願ヒタイモノデアリマス

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君)　山脇君ニ御答ヲ致シマスルガ唯今ノ所デゴザリマスルト段々最初ノ經畫ハゴザリマスルノデアリマスルガ、地租ノ如キモ修正ガゴザリマシタデ三十二年度ノ收入ノ見込ノモノハ大數ノミヲ申上ゲマスガ

〔山脇玄君「ドウカ甚ダ恐入リマスガ、數字デ「何コンマ」幾ラト云フ風ニ願ヒタウゴザイマス」ト述フ〕

ハイ、地租ニ於テ八百四十七万五千圓

〔山脇玄君「サウ仰ッシャラナイデ何コンマ何ミ」ト述フ〕

八「コンマ」デスカ、矢張何百ト云ハヌト工合ガ惡ウゴザイマス、八百四十七万五千圓、ソレカラ所得稅ガ百四十九万四千圓ソレカラ酒稅カ千五百

〔山脇玄君「何デス」ト述フ〕

酒稅デス、千五百五十万、ソレカラ噸稅ガ是ハ其最初ノ所ヲ申シテ置キマス今追ミ御修正ノ御評議中デゴザイマスカラ提出ノ豫算ヲ申上ゲマス、噸稅ガ四十七万五千餘ソレカラ日本銀行納付金ガ是モ大分今デハ變ッテ居リマスルカラ混雜致サヌタメニ提出ノトキノ見込ヲ申上ゲマス、サウ御承知ヲ……日本銀行納付金ガ百二十三万七千餘、ソレカラ登錄稅ノ改正ニ依テ印紙ノ收入ノ見込ガ百六十万三千餘、ソレカラ輸入葉煙草ノ收入ノ見込ガ百八万餘、ソレカラ段々專賣法ノ改正ニ依ッテ葉煙草專賣ノ益金ガ百十七万餘、ソレカラ煙草免許料ガ八十三万餘、ソレカラ郵便ノ收入ガ是モ當初ノ見込ノミヲ申上ゲマスルガ百九十八万餘、ソレカラ醬油稅ガ唯今ノ所デゴザイマスルト云フト此修正ニナッテ居リマスルカラ其方ヨリ申上ゲマスルガ百二十六万圓餘ニナリマス、ソレデ三十二年度ニ於キマシテハ當初ノ豫定ニ違ヒマシテ地租ニ於テ收入ノ見込ノ減ジタルモノガ七百四十七万圓ゴザイマスル、其七百四十七万圓ノ中ニ就イテ段々此豫算ノ上デ歲出ノ修正ニナリマシタモノガ百六十五万四千圓餘ゴザイマスルカラ其殘リノモノガ卽チ不足ニナッテ居ル譯デアリマス

○山脇玄君　其殘リハ幾ラニナリマス

○政府委員(目賀田種太郎君)　其殘リハ今ノ地租ノ七百四十七万圓ヨリ百六十五万四千三百九十五圓ヲ引イタモノガ足ラヌ分ニナルノデ卽チ殆ド六百万圓程ニナリマス

○山脇玄君　モウ一ツ伺ヒマスガ輸出稅ノ全廢モゴザイマシタガ……

○政府委員(目賀田種太郎君)　アレハ申殘シマシタガアレハ輸出稅ノコトハ先ヅ條約ノ消エマスルマデ捨テ置ク、左樣致シマスルト其分ガ六十万圓程ノ收入デゴザイマス

○議長(公爵近衞篤麿君)　他ニ御發議ガナクバ採決致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長(公爵近衞篤麿君)　過半數ト認メマス

○男爵西五辻文仲君　議事日程ヲ變更シテ直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔「贊成」ト述フル者アリ〕

○議長(公爵近衞篤麿君)　直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト述フル者アリ〕

○議長(公爵近衞篤麿君)　然ラバ直チニ第二讀會ニ移リマス第一條ヲ問題ニ供シマス「醬油稅則中左ノ通改正ス」ト云フノモ無論其中ニ籠ッテ居リマスノデアリマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

醬油稅則中左ノ通改正ス

第一條　醬油(溜ヲ併ス)ヲ製造セムトスル者ハ製造場一箇所每ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其製造ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

自家用料ノミノ醬油ヲ製造スル者ニシテ一家一箇年ノ諸味仕込高又ハ溜製成高一石以下ニ止マルモノハ前項ノ免許ヲ受クルヲ要セス但左ニ記載スル者ハ此限ニ在ラス

一　醬油請賣人

二　料理店、飲食店、旅人宿營業者

三　前二號ノ者ト同居スル者

○渡邊洪基君　此二讀會ニ移リマシタニ附キマシテ原案ハ委員長ノ報告ガ原案ニナッテ居リマスカ、ドレガ原案デアリマスカ

○議長(公爵近衞篤麿君)　委員長ノ報告ハ否決ト云フノデゴザイマスカラ採決スルコトハ出來マセヌノデアリマス

○渡邊洪基君　サウスルト政府案ガ原案デゴザイマスカ

○議長(公爵近衞篤麿君)　衆議院ノ修正ガ原案デゴザイマス

○渡邊洪基君　私ハ少數意見ヲ出シテ居ル者デアリマスガ政府案ガ直チニソレガ原案ニナルヤ或ハ修正案トシテ出スモノデゴザイマスカ

○子爵岡部長職君　私ハ衆議院カラ回付ニナリマシタモノガ原案デアルト固ク信ジテ居リマス

○議長(公爵近衞篤麿君)　無論サウデゴザイマス、御分リニナリマシタカ

○渡邊洪基君　ドウモマダ分リマセヌ

○議長(公爵近衞篤麿君)　衆議院ノ議決案ガ卽チ原案ニナッテ居ルノデアリマス、第一條御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト述フル者アリ〕

○議長(公爵近衞篤麿君)　第二條、是ニハ天春君ヨリノ修正案ガゴザイマス、是ハ修正案ダケ御參考ノタメ朗讀サセマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

第二條　醬油製造人ハ左ノ造石稅ヲ納ムヘシ但自家用料ノミノ醬油ヲ製造

スルモノハ半額トス

醬油ハ諸味一石ニ付　金二圓
造石稅　溜ハ製成一石ニ付　金二圓

（小原書記官朗讀）

（天春文衞君修正案）

第二條　醬油製造人ハ左ノ造石稅ヲ納ムヘシ但自家用料ノミノ醬油ヲ製造スルモノハ半額トス

醬油ハ諸味一石ニ付　金二圓
溜ハ製成一石ニ付　金二圓
造石稅
二番溜ハ製成一石ニ付　金一圓

（天春文衞君演壇ニ登ル）

○天春文衞君　諸君、私ハ今日ノ場合ニ當リマシテ甚ダ些細ナ修正デハアリマスルデゴザイマスルデ實ハ甚ダ好マザルコトデハゴザイマスガ併ナガラ實ニ此增稅ヲ致シマスル、卽チ稅率ヲ改正スルト云フ場合ニ於キマシテ之ヲ默止スルコトハ出來マセヌカラシテ已ムヲ得ズ諸君ノ御淸聽ヲ汚シマスル譯デゴザイマスル、私ガ修正ヲ致シマスル意見ハ唯今朗讀ニナリマシタ通第二條ノ造石稅ノ下ニ「二番溜ハ製成一石ニ付金一圓」ト云フコトヲ加ヘタイ主意デアルノデゴザイマスルガ其譯ト申シマスルモノハ此醬油ト申シマスルノハ全國ニ多數ヲ占メテ居リマスルモノデゴザイマシテカラニ溜ト云フモノハ諸君ニ於カセラレマシテモ實ハ多數ノ諸君ハ御承知モナイ位デアラウト思フノデゴザイマスル、然ルニ此醬油ノ方ニ於キマシテハ諸味一石ニ附イテ金二圓ト云フコトニナッテ居リマス、諸味ト申シマスルノハ卽チ豆ト麥トソレニ幾分カノ醬油ヲ和シテ攪拌致シマシタモノガ卽チ是ガ諸味デアルノデゴザイマス、然ルニ「溜ハ製成一石ニ付金二圓」トナッテ居リマスカラシテ溜ノ方ハ一番ト申シマシテモ最初ニ濃イ溜ヲ取リマシタモノモ又二番ニ稀薄ナル所ノ溜ヲ取リマシタノモ同ジク此製成一石ニ附イテ金二圓ノ稅ヲ課スルト云フコトニ此法律デハナルノデゴザイマス、然ルニ醬油ノ方デハ最初ノ諸味一石ニ附イテ金二圓ニ止マルノデゴザイマシテ醬油ハ御承知ノ通二番醬油三番醬油ト云フモノガアリマスルノデゴザイマス、然ルニ其二番三番ノ醬油ニハ稅ヲ課セズシテ唯最初ノ諸味一石ニ附イテ二圓ニ止マルノデゴザイマス、然ルニ溜ノ方デ見マスルト最初ノ一番溜ニモ二圓ヲ課シテ又稀薄ナル所ノ二番ノ溜ニモ同ジク二圓ヲ課スルト云フコトニナルノデアリマスルカラシテ甚ダ彼此權衡ヲ得ヌコトデゴザイマシテ不公平ナルモノデアリマスルノデゴザイマス、然ルニ此溜ト申シマスルモノハ最初ニ申上ゲマシタ通甚ダ少イモノデ先刻政府委員ニ質問致シマシタニ附キマシテモ諸君モ御承知ノ通全國デ僅カ十一万二千八百石位シカナイノデゴザイマス、其上二番溜ト申シマスモノハ僅カ三分ノ一弱位シカ造ラヌカラシテ三万石カソコラノモノデゴザイマス、所ガ此溜ヲ造リマスル者ハドコソコニ在ルカト申シマスレバ岐阜縣愛知縣三重縣此三縣ニ止ッテ居ルノデゴザイマス、其他ニ僅カゴザイマスガ三縣程ナイノデゴザイマス、故ニナゼ此溜ニ……二番溜ニ稅ヲ課スルコトノ不公平ガアルカト云フト明治二十一年六月ニ醬油稅則ガ改正ニナッテ居リマスガ斯ノ如ク少數ナル府縣ニ止マッテ居ル所ノモノデアリマスカラ私ノ推測スル所ニ依リマスレバ二番溜ニハサウ重キヲ置カズ一番溜ト同樣ノ稅ヲ取ルコトニナッテ居ルカト考ヘマス、故ニドウシテモ此醬油ノ方ト溜ノ方ト比較致シテ見マスルト甚ダ不公平デゴザイマスカラシテ二番溜ニ二圓ノ稅ヲ取ルナラ同ジク醬油ノ方ノ二番醬油ニモ二圓ノ稅ヲ取ラナケレバナラヌ、然ルニ醬油ノ方ニハ一度限デ諸味一石ニ附イテ二圓ノ稅ヲ取ッテ其他ハ稅ヲ取ラヌコトニナッテ居ル、故ニ此溜ハ漸々二番溜ノ稅ヲ廢セントカ云フノデハナイガ從來一石ノ稅ハ矢張二番溜ニ課カッテ居ルノデアルカラ此際此第一條ニ於テ二番溜製成一石ニ附イテ一圓ト修正ヲシタノデアル、サウシテ二番溜ノ方ハ一圓ニ止マリマスカラ之ニ依ッテ斯樣ニ致シマスルト云フト其當ヲ得タモノト考ヘルノデアリマス、尤モ此二番溜ト云フモノハ唯今申上ゲマシタ通甚ダ稀薄ナモノデ、マヅイモノデアリマス、故ニ一番溜ト申スモノハ例ヘテ申セバ一石ガ二十圓イタセバ二番溜ノ方ハ一石ガ五圓ソコラニカナラヌノデアル、然ルニ二十圓ノ價ニ對シテモ二圓ノ稅ヲ取リシ五圓ソコリ致シマセヌ二番溜ニ對シテモ同ジク二圓ヲ取ルト云フコトハ甚ダ重課稅ニシテモ不當ナモノデアリマス、假ニ歩合ニ比較スレバ一番溜ハ一割ノ稅デアリマスガ二番溜ハ四割ノ高イ稅ヲ拂ケラレルコトニナリマス、尤モ下等ノ者ガ二番溜ヲ使用致シマスノデ上等ノ人ハ一向使用シナイノデアリマスカラシテ稅ヲ取ル上カラ言ヒマスト貧民カラシテ稅ヲ取ルヤウナコトニナルノデアリマス、ドウシテモ此二番溜ハ斯樣ナ制裁ヲ置カヌ上ニハ不公平ニナルノデゴザイマス、故ニ斯ノ如キ修正ヲ提出致シタノデアリマスガ、尙ホ又此本案ヲ廢棄シヤウト云フ諸君ニ對シテ一言申上ゲタウゴザイマスガ斯樣ナ已ムヲ得ザル所ノ稅ヲ課スル場合ハ甚ダ國民ノ實際日々使用スルモノニ附イテ稅ヲ取ルノハ苛酷デアルカラ廢棄ト云フ說デアリマスガ、ソレカラシテ推シテ見マスレバ貧民ニ課スル所ノ稅デゴザイマシテ貧民ニ多クノ稅ヲ負擔サセ二番溜ノ稅ハ左樣ナ場合デアルカラシテ此廢棄說ヲ御提出ニナリマシタ方又之ニ御贊成ノ方ニ於テモ私ガ唯今申シタ二番溜ヲ一圓ニスルト云フコトニ附イテハ無論御贊成下サルモノト私ハ推測シマスカラ、ドウカ諸君、宜シク此不公平ナル稅則ヲ矯メラレンコトヲ偏ニ希望致シマス

（政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（若槻禮次郎君）　唯今御修正案ガ出マシテゴザイマスガ此醬油ノ造石稅ニ附キマシテ醬油ハ諸味ニ課稅スル、溜ハ製成ニ課稅スルト云フコトハ今回ノ改正案ガ出マシタコトデアリマセヌデ從前カラ此通リ行レ來ッテ居リマスノデ、從前カラ行レ來ッタ規定ハ其當時カラ是ガ公平デアル斯樣ニ致サヌケレバ唯今ノ御修正ノ通ニ致シマスレバ却ッテ溜ノ方ト當リ前ノ醬油ト不權衡ニナルト斯ウ云フコトニナリマス、故ニ今日デモ溜ト云フモノハ一番二番ヲ分タズ製成一石ニ附イテ幾ラト云フ稅ヲ課スルコトニナッテ居リマス、ト申スモノハ醬油ト云フモノハ諸味一石カラシテ出來上ル醬油ハ六斗若クハ六斗五升位出來マス、ソレ故醬油ハ諸味ニ一石一圓ナリ二圓ナリノ稅ヲ課スルノハ丁度醬油ガ出來マシテ六斗若クハ六斗五升ニ一圓ナリ二圓ナリノ稅ヲ課スルト同ジコトデ溜ダト云フト出來上リマシタモノニ一石一圓ナリ二圓ナリニナリマスカラ丁度諸味ニ課稅スルト溜ノ製成ノ方ニ一番二番ヲ分タズ課稅スルノハ今日デハ權衡ガ取ッテアリマスノデ、卽チ醬油ヲ造ルニハ二番醬油ト云フモノヲ取リマスノデ、一番醬油ヲ六斗ナリ若クハ六斗五升ナリ取ッタナラバ更ニ二番醬油ヲ取ッテソレデ一石ノ諸味カラ丁度醬油ガ一石若クハ一石一斗位ノモノガ出來ル勘定ニナリマス、ソレニ一方ニハ二圓ノ稅ヲ課シ溜ハ一圓ナリ二圓ナリ取ッテ其總體ニ一圓ナリ二圓ナリ課スルノデアルカラ諸

味一石ニ課稅スルニハ矢張一圓ナリ二圓ナリ合セテソレデ製成一石内外ノモノガ取レルノデアリマスカラ醬油ト溜ハ同一ノ有樣ニナッテ來マス、若シ溜ダケ二番ノ稅額ガ半分ニナルト云フト普通ノ醬油ヲ製造シマスル者ハ稅額ガ半分デナク矢張一番二番トモ同一ノ課稅ヲ受ケルコトニナッテ溜ヲ製造スル者トノ間ニ不權衡ガ生ズルコトニナリマスカラ、是ハ現行法デ雙方權衡ヲ取ッテ居ルノデ、溜ノ中ニハ別ニ區別ハナイ、今衆議院ノ修正ニナッテ居ル修正原案ノ通デアリマセヌト云フト却ッテ不公平デアリマスト思ヒマスカラシテ、ドウゾ原案ニ據置ヲ希望致シマス

○天春文衞君　政府委員ニ質問シマス、今ノ御說デ申スト溜モ醬油モ衆議院カラ送付ニナッテ居ル通デ公平ヲ得ルト云フ御說デゴザイマシタガ、政府委員ハ此醬油ナリ溜ナリノ造方ニ附イテハ御承知デアラウト考ヘマスガ、醬油ノ方デ例ヘテ申シマスルト今日普通ニ大豆五斗ソレニ麥五斗ソレニ仕込水ト云フモノヲ一石位入レマシテ、サウシテドノ位ナ諸味ガ出來ルカト云ヘバ一石四斗位ノ諸味ニナリマス、之ニ對シテ假ニ此一石四斗ニ二圓ノ稅ヲ課シマスレバ二圓八十錢ト同ジコトニナル、然ルニ溜ノ方デ申シマスレバ、大豆一石、是ハ豆ダケデ、之ニ水ヲ一石加入シテ一番溜リガ五斗位シカ取レマセヌ、二番溜ハ一石七八斗位サウスルト二石二斗カラノ高ニナリマス、ソレニ二圓ノ稅ヲ課シマスルト見マスト四圓五十錢ト云フモノニナリマス、一方デハ二圓八十錢デ止マリ一方デハ二圓五十錢ノ多額ノ稅ヲ取ルコトニナリマスル、サウシマスルト不公平ト云フコトハ明ナルモノト思ヒマス、尙ホ一應御辯明ヲ願ヒマス

○政府委員（若槻禮次郎君）　唯今金額ノ方カラ御計算デゴザイマシタガ私ガ公平ヲ得テ居ルト云フコトヲ申上ゲマスルノハ其物自體カラノ關係デゴザイマス、卽チ醬油デアリマシテモ二十一年ニ醬油稅則ト云フモノガ改正ニナッテ居リマシテ其時カラ諸味ニ課稅スルコトニナリマシタ、其以前ハ總テ皆製成ニ課稅スルコトニナッテ居ッテ其當時カラ申シマスレバ其醬油デアッテモ溜デアッテモ製成ニ課スルノデアリマスカラ區別スル所ハナイ、其製成ニ課稅スルト云フコトヲ二十一年ニ改メマシタ際ニ諸味ニ課稅スルコトニスレバ諸味幾ラ卽チ諸味一石ニ附キ從前ノ稅ト變ハラヌヤウナ稅ヲ課スルニハドレダケノ稅ヲ課シタラ宜シイカト云フコトヲ計算シマシテ、ソレハ諸味一石カラシテ一番取リ二番取リノ醬油ヲ取ルト凡ソ一石八升位ノ醬油ガ出來ルノデアルカラシテ諸味一石ニ矢張從前ノ通一圓ヲ課稅スルト云フコトニシテ、增稅ニナラズシテ然モ極ク課稅ノコトガ簡便ニナッテ納稅者モ苦シマナイト云フコトニナル、斯ウ云フコトデ改正シマシタノデ、當時ニ於テ既ニ製成ノ物ニ課稅シマスルノト同ジ割合ニ此諸味ト云フモノモ取ッテ居リマスノデアリマスカラコチラノ醬油ニ比ベテ見マシテモ一方ノ溜ハ製成ガ一石ニ附イテ幾ラト云フコトハ丁度ソコノ權衡ガ取レテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタノデ、價ニ至リマシテモソレハ醬油ヲ造リマス者デモ二番醬油ノ造リ方ニ依ッテハ價ガ變ッテ來マスカラ唯今申シマシタ物自體カラ權衡ヲ取ッテ申上ゲマシタノデアリマス

○天春文衞君　私ハソノ價デ言フノデハナイ、石數ヲ言フノデアル、ソレデ溜モ一番二番取リ溜ト醬油ノ諸味ト比較スルト溜ガ二石二斗ニナル、ソレハ四圓五十錢デ、醬油ノ方ハ二圓八十錢ニ止マルカラ同ジ原料ヲ以テサウシテ一方ハ四圓五十錢ノ稅ヲ拂ハナケレバナラヌ、一方ハ二圓八十錢ニ止マル、ト斯ウ云フ不公平ヲ言フノデアル、金額ヲ言ヒヤセヌノデアル

○議長（公爵近衞篤麿君）　他ニ御發議ガナクバ採決ヲ致シマス、天春君ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長（公爵近衞篤麿君）　少數ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

次ハ第三條ヨリ末條マデ

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

第三條　第一條第二項ニ該當スル者ハ前條ノ造石稅ヲ課セス

第四條　造石稅ハ左ノ期限ニ從ヒ之ヲ納ムヘシ但廢業スル者ハ其際之ヲ納ムヘシ

第一期　七月三十一日限

一月一日ヨリ四月三十日マテ査定石數ニ係ル稅額

第二期　十一月三十日限

五月一日ヨリ八月三十一日マテ査定石數ニ係ル稅額

第三期　翌年三月三十一日限

九月一日ヨリ十二月三十一日マテ査定石數ニ係ル稅額

第七條　醬油ヲ原料トシテ醬油ヲ製造スルトキハ原料醬油ニハ造石稅ヲ課セス

第十五條　第一條第二項ニ該當スル者ハ政府ニ申告スヘシ

第十九條　第一條第二項ニ該當セサル者ニシテ免許ヲ受ケス醬油ヲ製造シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其造石數ニ應シ第二條ノ造石稅ヲ課ス

前項ノ造石稅ハ其際直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十條中「罰金ニ處シ」仍ホ其犯罪ニ係ル醬油及容器ヲ沒收ス」トアルヲ「罰金ニ處ス」ニ改ム

第二十一條　第五條第六條ノ査定ヲ受ケサル者第八條第九條第十六條ヲ犯シタル者第十五條ノ申告ヲ爲ササル者及逋稅ヲ謀ル爲メ帳簿ノ記載ヲ詐リタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ第十六條ヲ犯シタル者ハ仍ホ其總石數ニ第二條ノ造石稅ヲ課ス

前項ノ造石稅ハ其際直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十二條中「第七條ヲ犯シタル者」ヲ削ル

第二十三條　第一條第二項ニ該當スル者一石ヲ超エテ諸味ヲ仕込ミ又ハ溜ヲ製成シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其總石數ニ第二條ノ造石稅ヲ課ス

前項ノ造石稅ハ其際直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十八條中「北海道」ヲ削ル

附則

此法律ハ明治三十二年三月一日ヨリ施行シ同日以後ノ査定ニ係ル醬油ニハ其製造著手ノ時期ニ拘ラス此法律ヲ適用ス

此法律施行ノ際醬油製造營業ノ免許鑑札ヲ受ケタル者ハ此法律ニ依テ製造ヲ免許シタルモノト看做ス

此法律施行ノ際自家用料ノ醬油ヲ製造スル者ハ明治三十二年三月二十日マテニ其現在諸味石高ヲ記載シ政府ニ申告スヘシ但明治三十二年ニ限リ第一條第二項ノ制限石數ハ此法律施行後ニ於テ仕込ムモノヽミヲ計算ス

○議長（公爵近衞篤麿君）　第三條ヨリ終リマデ御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

然ラバ是ニテ二讀會ハ終リマシタ

○水野遵君　直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

（「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　直ニ第三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

然ラバ第三讀會ニ移リマス、本案可決ト認メテ御異議ガゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

然ラバ是ニテ確定シマシタ、時刻ガ大分迫リマシタカラ郵便條例ノ議事ハ午後ニ致シマス休憩ヲ……

午前十一時四十五分休憩

午後一時四分開議

○議長（公爵近衞篤麿君）　是ヨリ報告ヲ致シマス

（小原書記官朗讀）

本日子爵長岡護美君、子爵曾我祐準君、子爵小笠原壽長君、男爵尾崎三良君、男爵南岩倉具威君、男爵生駒親忠君、富田鐵之助君、澤簡德君、菊池長四郎君ヨリ六十七名ノ贊成ヲ以テ第五回內國勸業博覽會ヲ明治三十五年ト定メ東京ニ開設スルノ建議案ヲ發議セラレタリ

大分縣下郡界變更法律案特別委員會ニ於テ委員長ニ伯爵勸修寺顯允君、副委員長ニ中村元雄君當選セラレタリ

○議長（公爵近衞篤麿君）　今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

（太田書記官長朗讀）

沖繩縣土地整理法案特別委員

子爵鍋島直彬君　子爵堤功長君　子爵山井兼文君

籠手田安定君　男爵石田英吉君　男爵有地品之允君

馬屋原彰君　澤簡德君　海江田平治君

取引所法中改正法律案特別委員

子爵伏原宣足君　子爵野宮定穀君　男爵尾崎三良君

男爵小畑美稻君　男爵小澤武雄君　男爵寺島秋介君

男爵本多副元君　男爵島津珍彥君　八阪甚八君

○議長（公爵近衞篤麿君）　是ヨリ午前ニ引續イデ會議ヲ開キマス、郵便條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

（侯爵黑田長成君演壇ニ登ル）

○侯爵黑田長成君　郵便條例中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、此法案ニ就キマシテハ去ヌル十六日及十七日ニ委員會ヲ開キマシテ、其兩度ノ委員會デ多數ヲ以テ可決スルコトニナリマシタ、決議ノ際ニハ四名ニ對スル二名ト云フコトデ、卽チ二名ノ多數デ可決ヲ致シタノデアリマス、之ニ就キマシテハ速記錄ガ諸君ノ御手許ニ回ッテ居ル筈デゴザイマスカラ極メテ御覽ニナッタコト、存ジマス、且ツ又本員ハ報告ノ後ニ一己ノ資格ヲ以チマシテ本案ニ對スル反對ノ意見ヲ聊カ陳述致ス積リデゴザイマスカラ、便宜上本案ニ對シマスル報告ハ此本案ヲ可トスルト云フ論者ノ說ノ大要ヲ御報道致サウト思ヒマス、本案ニ就イテハ段々贊成諸君ノ御意見ガアリマシタガ其重モナル點ヲ二三御報道致シマス、第一ニ郵便條例ノ明治十七年ニ改正ニナリマシタトキカラ見ルト現今ノ所デハ貨幣ノ價モ大イニ下落致シテ居ル、卽チ物價ガ餘程騰貴シテ居ルノデアルカラシテ此際郵稅ヲ增シタトテモ一般人民ニ大イナル影響ヲ及ボスコトハナイデアラウ、且ツ又此法案ヲ通サナケレバ歲入塡補ノ財源トシテ他ニ適當ナモノヲ到底見出スコトガ出來ナイ、ソレデ今日焦眉ノ急デアルニ依ッテ此郵便稅ヲ增加スルノ外ハナイ、ソレカラ又政府委員ノ說明ニ依リマスレバ此增稅ヨリ生ズル所ノ收入ハ無論國庫ニ往ッテ如何ナルコトニ支出スルノカソレハ極マッタ譯デハナイケレドモ追テ交通機關ノ發達ノタメニ或ハ電信事業ノ擴張費トカ云フヤウナ交通事業ノ發達ヲ圖ルタメニ大ニ支出ヲ要スル金額モアル、サウシテ見レバ此度ノ郵便稅ノ增加ト云フコトハ其交通機關ノ發達ノタメニモ間接ニ矢張用ヒラルヽコトニモ當ル、斯ウ云フ政府委員ノ說明デアリマシテ贊成ノ諸君ハ此點ニ就イテモ又本案ヲ通シテ差支ナイト云フ考ニナラレタノデアリマス、ソレカラ又一方ニハ同ジ贊成者ノ中ニモ少シ意見ハ違ヒマスガ矢張之ヲ可決シヤウト云フ方ノ說ガアリマシタ其說ニ依リマスト此郵便稅ノ法案ハ甚ダ不十分ナモノトハ思フ、併シナガラ外ニ到底財源ガナイ以上ハ已ムヲ得ズ此度限ハ此法案ヲ是認シナケレバナルマイ、若シモ之ヲ否決シタナラバ此法案ヨリモ一層惡稅ヲ認メナケレバナラヌヤウナ結果ニナルコトヲ恐ルヽカラ今日ノ所デハ之ヲ通過セシムルノ外ハナイ、斯樣ナコトデ本案ハ大體可決ト云フコトニ決シマシタ、卽チ衆議院ノ修正案、此原案ノ通ニ可決スベキモノト云フコトニ委員會ニ於テハ認メマシタノデアリマス、委員長ト致シテ本案ニ對シマスル報告ハ是ニ止メテ置キマス、登壇ノ序ヲ以テ一言一己ノ意見ヲ是ヨリ陳述致シタイト思ヒマス、暫時淸聽ヲ煩ハシマス、本員ノ考ヘマスル所デハ全體信書ト云フモノハ國民ノ智識ヲ發達セシムルタメニ最モ必要ナル機關デアラウト思ヒマス、國ノ文明ト云フモノハ詰リ之ニ依ッテ進ンデ參ルモノデ又商工業ノコトナリ社會百般ノコトハ大ニ此郵政ノコト、關聯ヲ致シテ居ル卽チ國家ノ發達ト云フコトニハ大關係ノアル事柄ト思ヒマス、一國ガ富强デアルトカ、或ハ貧弱デアルトカ、開明デアルトカ、未開デアルトカ云フヤウナコトハ一ニ此信書ノ多少ニ依ッテトスルコトガ出來ル位ナモノデアラウト思ヒマス、一體此郵便事業ト云フモノハ國家ノ文明ノ基礎トモ言ッテ宜イモノデ實ニ交通機關ノ中デモ重モナルモノデアリマス、斯ノ如キ事業ニ對シテハ政府ハ力メテ發達奬勵ノ途ヲ執ラナケレバナラヌト考ヘマス、既ニ政府ハ彼ノ道路ノ修築ニ致セ、又港灣ノ改造ニ致セ、或ハ敎育事業ト云フヤウナモノニ致セ、政府ガ十分之ヲ發達セシムル所ノ義務ヲ帶ビテ居ルノデ、矢張ソレト同樣ニ此郵政ヲ發達セシムルコトニ附イテモ政府ハ其コトハ義務トシテシナケレバナラヌコトヽ思ヒマス、ソレデ斯ク申シマスルトドウシテモ論理上カラ此郵便事業ノコトハ收益ニ屬スベキモノトバカリ考ヘル譯ニハ往キマセヌ、詰リ此郵便ヨリ生ズル所ノ收入デ遞信ニ關スル費用ヲ支辨スレバソレデ足ルコトデア

リマス、若シ萬一ソレニ不足ヲ告グルヤウナコトデアレバ國庫カラ負擔ガ出來レバ國庫ノ爲シ得ル限ハ十分之ニ保護ヲ與ヘテモ宜イダライナコト、思ヒマス、ソレデ速記錄デモ御承知デゴザイマセウガ、此郵便條例ノ案ニ附イテ贊成ノ諸君ノ御意見ノ中ニハ既ニ此三十二年度ノ豫算ヲ可決シテ兩院ヲ通過シタ、斯クナッタ以上ハ議院ハドウシテモ此塡補ヲスルコトガ必要デアル、サウ云フ意味ノ御說モアッタヤウデ、併ナガラ此塡補ト云フコトハ其稅ノ性質ニ依ッテ考ヘ物デアラウト思フ、此郵便稅ノ如キハ我ミノ考フル所デハ甚ダ不完全ナル性質ノモノト思フノデ惡稅ト言フテモ宜カラウト思フ、サウシテ見ルト外ニ稅源ガナケレバ格別デアリマスガ、ソコハ卽チ政府ノ責任デアッテ議院ニ於テハ此案ノ可否ヲ十分論ジテ差支ナイコト、思ヒマス、若シ此法案ガ諸君ノ多數ガ不適當ト御認メニナレバ政府ニ於テ更ニ適當ナル法案ヲ提出ニナルコトガ相當ト思ヒマス、先刻前案ノ議事ノトキニ委員長カラモ報告ニナリマシタガ、其中ニ聞ク所ニ依レバ兩院議員ノ歲費ノ增加案ガ衆議院ノ方ヘ提出ニナルカモ知レヌト云フヤウナ話モアリマシタ若シ是ガ事實デアリマスナラバ實ニ驚キ入ッタコト、思フノデ、今日ノ如キ場合ニ當ッテ斯ノ如キ法案ヲ可決シテモ今ノヤウナコトモシナケレバナラヌ云フコトハ如何ナルモノデアラウカト思ヒマス、斯ノ如キ交通機關ノ發達ニ影響ヲ及ボスヤウナ案デアッテ見マスレバ政府ハ宜シク之ヲ撤回シテサウシテ其交通機關ノ發達ト云フモノヲ圖ルヤウニ努メナケレバナラヌコト、思ハレル、ソレカラ先刻申シマシタ、今日ハ物價ガ騰貴シテ居ル云々ト云フ說モアリマスカ、成程從ッテ勞働者ノ賃金ナドモ餘程騰貴ヲ致シテ居ルト云フ有樣デアリマセウ、併ナガラ本ト此郵政ノ性質ト云フモノハ決シテ營利的ニスベキ事業デハアルマイト思フノデ、郵便事業ノ收支ガ相償ヘバソレデ宜イコトデアルノデ、況ヤ今日デハ收支ノ差ガ純益ガ二百數十万圓ノ多キニモ達シテ居ル今日デアリマスカラ尙ホ更增加スル必要ハナイト思ヒマス、ソレカラ又唯今ノ論鋒カラ來マスト郵稅ガ上ッテモ細民ニハ格別難儀ハ掛ケナイト云フ議論デアリマスケレドモ、既ニ政府ニ於テモ、此法案ニ於テ見積ッテ居リマスノニハ切手ガ一錢ダケ增シマシテ葉書ハ五厘ダケ增スコトニナッテ居ル、サウシテ信書ノ總數ニ就イテハ一割餘ノ減額ヲ政府ニ於テモ見積ッテ居ルノデ、サウシテ見マスト此一割以上ノ人民ト云フモノハ卽チ中等以上ノ人デハナクシテ重モニ下層ノ人民デアリマスルカラ詰リ其下層ノ人民ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ結果ニナルト云フコトハ政府自身モ明言シテ居ルヤウナ次第デアリマス、然ルニ我ミハ政府ガ見積ッテ居ルヨリハ或ハ今一層豫定ノ金額ガ減ジルトモ增シハシマイト云フ位ニ憂ヘテ居ルノデゴザイマス、中等以上ノ人デアリマスレバ電話トカ或ハ電信トカ云フモノモ信書ノ傍ニ用ヒルコトガ出來マスガ、最下層ノ民ニ至ッテハソレ等ノ便利モ得マセヌカラ豫期ヨリハ一層收入ハ減ラウカト心配シマス、デ我ミ同胞ノ人民ニソレダケ難儀ヲ掛ケルト云フコトハ甚ダ不穩當ナコトデアリマシテ實ニ此稅ト云フモノハ其點カラ見テモ宜シクナイ性質ノモノト思ヒマス、一體此稅ヲ課スルト云フノハ貧富ノ區別ニ應ジテ課シテ往カナケレバナラヌ、貧富ニ應ジテ等差ヲ設ケテ往クガ最モ適當デアラウト思ヒマス、然ルニ此法案ニ依リマスルト重モニ下級ノ人民ニ向ッテ課スルヤウナ結果ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ又憲法上カラモ考ヘテ見マスト、一體此信書ノ自由ト云フコトハ最モ此人權ノ中デ重ンズベキモノデ、外國ノコトハ申スマデモアリマセヌガ、我國ノ憲法ニ於テモ信書ノ祕密ト云フコトヲ重ンズル規定ガアルト思ヒマス、斯樣ナ人民ニ取ッテハ貴重ナル權利デアリマスル以上ハ成ルベク其發達ヲ圖ラヌケレバナラヌ譯デアリマス、然ルニ政府ニ於テハ此收入ノ思フ程ニハ取レナイト云フコトハ殆ド自白シテ居ルノデ、其減ズルコトヲ知リナガラ增稅ヲスルト云フコトハドウモ甚ダ本員等ハ同意シカネルノデ、其上此增稅ノタメニ大ニ一般ニ不便ヲ來タシ困難ヲ被ラシメルヤウナ結果ニナルノデアリマス、ソコデ終ニ一言述ベマスガ本員等ハ此際假令塡補ヲスル必要ガ歲出入ノ等差ノ上カラ起ッテ來マシテモソレハソレト致シテ塡補ヲスル必要ガアルカラト言ッテ深ク將來ノコトヲ考ヘズニ餘儀ナク此案ニ贊成スルト云フヤウナコトニナリマシテハ甚ダ遺憾ナ次第デアラウト思ヒマス、ソレデ到底此郵便稅ヲ增加スルト云フコトニハ私ハ豫テヨリ反對ヲ懷イテ居ルノデ、ソレデ望ム所ハドウカ政府ニ於テモ他ニ適當ナル財源ヲ求メラレテサウシテ兩院ノ協贊ヲ經ルヤウニ相成リタイト思ヒマス、ソレデ委員會ニ於テモ取調ベテ見マシタガ、衆議院ニ於テ此第三種ノ郵便物ト云フノヲ削除シマシタ其結果トシテ、最初政府提出案ノ通デアレバ百八十万圓ノ純收入ヲ得ル見込デアッタノデス、ソレガ今ノ衆議院修正ノ結果ニ依リマシテ二十万圓ダケ減ジテ百六十万圓ノ純收入ヲ此案デ得ルコトニナッテ居ルサウデス、ソレデ先ヅ其金額ノ所デアリマスガ、ドウトカ一ツ他ニ御工夫ニナルヤウニ一方ニハ政府ニ向ッテ希望ヲシ、一ツニハ諸君ニ向ッテ、斯樣ナ交通機關ノ最モ必要ナル郵便事業ト云フヤウナモノハ益〻發達奬勵セシムルヤウニ御贊同下サルコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　水野君

○水野遵君　私ハ極メテ單短デゴザイマスルデ此席カラ申述ベマス、唯今委員長カラ已ムヲ得ズ贊成スル、之ヲ贊成シナケレバ是ヨリモ惡シキ稅ガ出ルト云フ委員ノ說ガ有ッタト云フコトヲ御報告ニナリマシタガ、ソレハ卽チ本員ガ申立テタ說デアリマス、ソレヲ別ニ繰返スニハ及ビマセヌガ、此郵便稅ノ增加ニ對シテハ政府ト雖モ……誰モ總テ之ヲ喜ンデ贊成スル者ハナイデアラウト本員ハ信ジマスルガ、奈何セン各員御承知ノ財政ノ逼迫ヨリシテ塡補ト云フコトニ殆ド六百万圓ノ金ガ入ル、殊ニ又豫算ハ通過シテ居リマス、ソレカラ衆議院ニ提出ニナッテ居リマシタ所政府ハ顧ル所ガアッテ撤回ニナリマシタ卽チ家屋稅ノ如キ困難ナ稅スラ之ヲ徵收シナケレバ此塡補ニ應ズルコトガ出來ヌト云フ位デアリマス、ソレデ彼ト此ト比較シテ見マスト郵便稅ハ貨幣制度ノ變化ヨリシテ五割增シタ所ガ左程苛酷ナ稅ニハ相成ラヌトモ存ズル、又徵收ノ上ニ於テモ他ノ稅ニ比較スレバ餘程容易クシテ唯今委員長ノ御報告通ノ百六七十万圓ノ租稅ヲ得ルコトガ出來マスル、今日如何トモ致方ガナイ、卽チ俗ニ言フ脊ニ腹ハ換ヘラレヌト云フ點デ本員ハ贊成シタノデアリマス、モウ別ニ理由ハ申シマセヌ、是ダケノコトヲ申シテ諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　曾我子爵

○子爵曾我祐準君　通告ノ順ヲ繰換ヘマシテ三島子爵ト變リマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　然ラバ三島子爵

（子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル）

○子爵三島彌太郎君　本員ハ此改正ハ郵政ノ目的ニ背反スル不法ノ法案ト考ヘマスノデアリマス、若シ之ガ不幸ニシテ實行サレマシタナラバ啻ニ其實行ノ目的ヲ達セナイバカリデナク延イテ經濟界ノ發達ヲ害シ又人文ノ進歩ヲ妨

ゲルニ至ルハ必然ノコトデアル、ソレ故ニ本員ハ諸君ガ何卒此案ヲ排斥セラレンコトヲ切望スルノデアリマス、引上論者ノ一ノ理由トシテ我國ニ於ケル郵税ハ安イ、安イカラシテ之ハ引上テモ宜シイ斯ウ云フコトヲ言ハレルノデス、ケレドモ外國ト日本トノ事情ヲ能クミ考ヘナイデ單ニ税率ノ數字ノ上デ税ヲ上ゲテ宜シイト云フノハ無謬モ甚シイモノト考ヘマス、抑〻此金錢ニハ名目上ノ價格ト實際上ノ價格トアルノハ誰モ知ッタコトナンデス、今我國ノ程度ヲバ歐米各國ノ生計ノ程度ニ比ベタナラバ果シテ甲乙ガナイデアリマセウカ、我ト太平洋ヲ隔テヽ居リマス亞米利加ノ有樣ヲ見マスレバ一日ノ勞銀ハ四圓或ハ六圓ニモ當ッテ居ルノデアリマス、サウシテ國内ニ通用スル貨幣ハ我國ノ二錢ニ當ル金ガ一番低イノデアッテサンフランシスコ抔ニ於テハ五錢卽チ十錢ニ當ルモノヨリ以下ハ通用シテ居ラヌ位デアリマス、實ニ我國ノ二錢ヲバ外國ノ金ニ比ベタナラバ彼ノ四錢、六錢或ハ十錢ニモ當ッテ居ル、併シ今假ニ彼我ノ程度ガ同ジト見テ、サテ郵便税ハドウデアルカト云フト我國ノ二匁二錢ニ比ベテ高イ國ハ僅カシカナイ、卽チ佛蘭西ハ四匁六錢又葡萄牙獨逸ハ四匁五錢ノ率ガアルバカリデアリマシテ其外ハ皆我國ト同ジ率カ若クハソレヨリ遙ニ低イ、卽チ亞米利加ハ七匁五分デ四錢サウスルト二匁ハ僅ニ五厘三毛ト云フモノニ當ッテ居ル、又英吉利デハ三十匁デ四錢、是ハ二匁デ僅カ二厘六毛ト云フ率ニ當ッテ居ル、又極郵政ノ發達シテ居ル瑞西ノ如キニ至リマシテハ一通ノ書狀四錢重量ハ無制限デアル、又、端書ニ至リマスレバ伊太利葡萄牙ノ如キハ一枚四錢デアリマスガ、其外ハ大概一枚二錢デアリマシテ、是ハ國ノ程度カラ云ヘバ寧ロ廉イト考ヘルノデアリマス、次ニ此引上論者ノ論據トスル所ハ此度ノ改正ニ依レバ今マデ二匁二錢デアッタノガ四匁三錢トナッタノニハ卽チ二匁ニ附イテ一錢五厘トナッタカラ下ッタノデハナイカト斯ウ言ハレマスケレドモ是又彼我ノ事情ヲ能ク究メナイ論デアラウト思フ、西洋ノ紙ハ日本ノ紙ニ比スレバ遙ニ重イノデスカラ一枚ノ西洋紙ヲ西洋紙ノ狀袋ニ入レヽバ大概二匁以上ニナル、ソレガ卽チ外國デ以テ二匁ヲ基礎トシテヤルコトガ出來ナイノデス、所ガ我國ニ於テハ紙モ輕シ狀袋モ輕イカラ大概ノ書狀ハ皆二匁以下デ濟ミマス、殊ニ下層社會ニ至リマシテハ紙ハ成ルタケ節儉致シマスカラ二匁デ十分ナノデアリマス、今我國デ二匁以上ノ信書ハ其以下ノモノト比ベテドノ位アルカト云フト十分ノ一ニ足ラナイ、此度ノ引上ニ依ッテ得ル便利ハ卽チ十分ノ一以下ノ少數ノ部分ニ止ッテ、其少數ノ部分ハドウ云フ人ガ出スカト云フニ重ニ中流以上四錢以上ノ郵税ヲ拂ッテモ少モ差支ナイ人達ガ之ニ依ッテ利益ヲ得ルノデアリマス、又我國デ此二錢ト云フ郵税ハ決シテ國ノ度ニ合セテ廉クハナイト云フ證據ニハ此信書ト端書ノ比例デアリマス、歐米各國ハ何ノ國デモ信書ノ數ハ端書ノ數ニ比ズレバ遙ニ多イ、英吉利ハ二年前ノ統計ニ依ルト一人一箇年信書ノ數ハ五十通、端書ハ九通シカナイ、卽チ信書五通ニ附イテ端書一通ト云フ割合ニナッテ居リマス、又亞米利加モ矢張信書五通ニ附イテ端書一通デス、佛蘭西ノ如キハ信書百通ニ附イテ端書ハ僅ニ七通シカ出テ居リマセヌ、然ルニ我國ハドウデアルカト云ヘバ是マデマルデ正反對デアリマス、信書ノ數ハ日本デハ二年前ノ統計ニ依レバ一箇年僅ニ三通ニ過ギナイ、然ルニ端書ハ七通デゴザリマス、卽チ端書ハ信書ノ倍餘ニ當ッテ居ル、是ハドウ云フ譯カト云フニ一ツハ日本ノ國情ガ信書ノ祕密ヲ外國程重ンジナイト云フヤウナ理窟モアリマセウ、ケレドモ此信書ノ比例ハ十年前カラシテ端書ノ方ガ割合ニ增シテ來テ居ル、卽チ十年前ハ端書ハ四通デ信書ハ三通デアッタガ今日ニ於テハ前申シマシタ通端書ガ七通デ信書ガ三通デアリマス、今日俄ニ信書ノ祕密ヲ重ンズル風ガ減ッタト云フコトハ出來ナイ、是ハドウシテモ一錢ト云フ廉イ率ガ我國ノ多クノ人ニ最モ適シテ居ルモノデアラウト考ヘマス、次ニ此反對論者ノ言ハレルニ此郵便ノ事業ト云フモノハ政府ノ一ツノ商賣ト認メテ宜シイ、ソレ故ニ此事業ニ放下シタル所ノ資本ニ對シテ相當ノ利益ヲ收メナケレバナラヌ故ニ此今物價モ高クナッテ來タカラ之ヲ引上ルノハ至當デアルト斯ウ云フ論デアリマス、併ナガラ是ハ全ク郵政ノ性質ヲ誤解シテ居ル論デアルト思フ、抑〻此郵便事業ト云フモノハ何故國家ガ之ヲ獨占事業トシテ居ルカ、何故ニ法律ヲ以テ種々ノ特權ヲ此事業ニ與ヘテ居ルカト云フニ、例ヘバ郵便條例ノ第六十七條ニ依レバ書狀ハ郵便局ノ手ヲ經ナケレバ出スコトハ出來ヌコトニナッテ居リマス、又六十八條ニ依レバ内國各地ニ往復スル船車ノ所有主ハ驛遞局ヨリ郵便ヲ託サレタルトキハ拒ムコトハ出來ヌコトニナッテ居ル、其他七十條ナリ七十一條ナリ皆之ヲ保護スル目的デ以テ出來テ居ル、國家ハ何故ニ此事業ニ斯ル保護ヲ與ヘルノデアリマスカ、又放任主義ノ最モ盛ナル英吉利亞米利加等ガ何故ニ此事業ニ限ッテ政府ノ獨占事業トシテ居ルカ、是レ決シテ政府ノ財源トナスガタメデハナイノデアル、抑〻郵便事業ト云フモノハ智識交換ノ肺臟デアル、是ハ社會ニ於ケル血液順環ノ脈絡デアル故ニ此事業ノ統一ヲ謀リ公平ヲ圖リ、又敏活ヲ謀リ最モ一般人民ノタメニ低廉ヲ謀ラナケレバナラヌ、殖産工業又教育ノ普及ヲ謀ル文明ノ一大利器デアッテ國家ノ公共ノ事業トシテ經營スル必要ガアルカラデアリマス、決シテ或ル論者ノ言ハレル如ク是ハ會社事業ノヤウニ資本ニ對スル何分ト云フ收支ヲ計ラナケレバナラヌト云フヤウナ性質ノモノデハアリマセヌノデアリマス、ソレ故ニ此郵便事業ノ性質カラシテ申シマスルト已ムヲ得ナイ場合ニハ政府ハ支出ノ超過ヲ見ナイデ一般ノタメニ郵便税ヲ下ゲナケレバナラヌノデス、卽チ亞米利加、加拿陀ノ如キハ此事實ヲ行ッテ亞米利加ハ年々二十餘万ノ金ヲ國庫カラ出シテ實際事業ノ發達ヲ謀ッテ居リマス、故ニ今多少此高クナッタ割合ニ郵税ガ下ッタコトニナルノデアリマス、卽チ此郵政ノ目的ニ協ッタト聞イテ居ルノデ此節信書ノ數ナゾガ非常ニ增シタ一ツノ原因ハ私ハ其處ニアルデアラウト考ヘルノデス、ソコデ此税率ヲ下ゲマスルト何ノ邦デモ皆收入ガ增シテ來ルノデス、ソレハ下ゲ方ニ依ッテ非常ニ差ガアリマス、英國ガ四五十年ノヤウニ四ペンモノモノヲ一ペンモニヤッタヤウナトキハ又格別、事業ニ費用ヲ放下シタ例ハ皆收入ガ增シテ居ル、先ヅ二年前ニ英吉利ガ郵便税ノ改正シテ從來七匁五分デ四錢十六匁ガ六錢三十匁ガ八錢、三十匁以下ハ皆四錢デアリマス、卽チ此半減ヲシタ、トコロガ其結果トシテ其前年マデ三万六千ノ信書ノ數ガ俄ニ六万三千トナリ其結果トシテ收入ガ三百八十二万圓ダケ增シテ居ル、又之ニ反シテ引上ゲタ例ハドウカト言ヘバ此節郵便事業ノ發達シテ來テ卽チ千八百七十四年萬國郵便會議ナゾガ開カレルト云フコトニナリ其樣ナコトヲシタ國ハ一國ガ最モ力ヲ伸シテ卽チ三十年前佛蘭西ガ戰後ノ經營ヲ計ルタメニ國内信書ノ料ヲバ今マデ五分……地方ノ郵税ヲバ五割程引上ゲマシタ、是ガ卽チ最後ノ例デス、其時ノ結果ハドウデアッタカト言ヘバ直接ノ影響トシテ信書ノ數ガ三千三百万程減リマシタ、其翌年ハドウデアッタカト云ヘバ更ニ不結果デアッテ七千百万通減ッタ、其後信書ノ增加ト云フモノハ遲々トシテ誠ニ言フニ足ラヌノデス、舊ニ全ク復シタノハ千八百七十八年ニ政府ガ郵政ニ大削減ヲ加エラ

レマシテ以前ヨリズット安クシマシタ、其トキ始メテ舊ニ復シタノデアル、其收入ハドウデアッタカト言ヘバ引上ノ翌年ニハ千二百万ふらん卽チ二割增シマシタケレドモ信書ノ數ガ減少シマシテ二千五百万ふらんトナリマシタ、ソレデ其儘居据リニナッテ殆ド增加シナイト言ッテ宜シイ位ニナッタ、ソレガ舊ニ復シタノハ矢張此郵稅ガ下ッテカラ舊ニ復シタノデアリマス、若シ假ニ此佛蘭西ガ郵稅ヲ引上ゲナカッタモノト見テ其前年マデ增シテ居ッタモノナラ……信書ガ增シタモノト見タナラバ此大削減ヲ郵稅ニ行ッタ當時却ッテ收入ガ殖エテ居ル割合ニナリマス、今我邦デ以テ此郵便料ヲ引上ゲマシタナラバ其結果ハ全ク英國ノ反對デアッテ佛蘭西ノヤウデアル、サウシテ此信書ノ多クハ端書ニ變ジテ、端書ハ又其數ヲ減ジテ其結果トシテ私ハ政府ガ豫期スルヨリモ收入ガ殖スコトハ出來ナイト信ジテ居ル、矢張一年ダケ殖エタ所ガ是ヨリ四五年經テバ必ズ矢張今マデノ通政府ガ收入ヲ得ルダラウト思ヒマス、サウシテ此信書ガ引上ゲラレタ結果トシテ必ズ減ズルト云フコトハ政府委員モチヤント明言シテ居ルモ減ズル部分ハドウ云フ所ガ影響ヲ受ケルカト言ヘバ先刻黑田侯爵モ述ベラレマシタ通是ハ卽チ電信、電話等ノ機關ニ依ルコトガ出來ナイト云フ所ノ下層ノ人民ガ此影響ヲ受ケルノデアリマス、是ハドウモ社會政策上留心シナケレバナラヌ點デ一體是ハ郵政ノ目的ニ背反シテ居ルモノト考ヘマス、今翻ッテ日本ノ郵政ノ有樣ハドウデアルカト申セバ實ニ軍事ニ於テハ日本ハ世界デ以テ六七トモ數ヘマシテ居リマス、ソレデ國民ノ進歩ノ遲速ヲトスベキ郵政ニ於テハ歐米各國ナドカラ見ルト最モ劣等ノ地位ニ居ル、郵便局ト言ヘバ十年前カラ三千七百局デアッタガ郵便受取所ヲ合セテ四千餘箇所一向變ッテ居ナイ、人口ニ割當テマスレバ明治十年マデハ八千八百餘人ニ附イテ一箇所ノ郵便局ノ所デ今日ハ一万人ニ附イテ一箇所ノ郵便局デ、卽チ退歩シタ斯ウ云フ例ハ歐米ニ其例ヲ私ハ見出サナイノデス、又信書發送ノ數ハドウカト云ヘバ今日亞米利加ガ一箇年一人ニ附イテ九十二通、英吉利ハ七十八通、獨逸ハ四十五通佛蘭西ハ四十七通デアリマス、ソレデ日本ハ僅カ十二通シカ出テ居ラヌ、斯ウ云フコトハ一ニハ此設備ノ不完全カラ來ルノデ決シテ私ハ是ハ國家ノ智識ガマダ發達シナイカラト云フコトハ出來ヌデアラウト思ヒマス、今歐米各國ハ駸々トシテ此事業ノ發達ヲ努メテ居ッテ殊ニ米國ノ如キハ殆ド之ヲ以テ唯一ノ方針トシテ進ンデ居ル數年前ニ日本ノ內閣ノ一員ガ亞米利加ヘ渡ラレタコトガアル、其トキニ時ノ大統領グランドニ向ッテドウシテ亞米利加ハ斯ウ云フ風ニ早ク發達シタカト尋ネタ所ガ大統領ノ言フノニハ亞米利加ハ種々ノ方針ヲ執ッテ今日マデ來タケレドモドウモ好イ結果ヲ生ジナカッタ、ソコデ是ハ交通ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトト思ヒ附イテ其後ハ交通ノ保護ヲ只管務メタ所ガ今日ノ結果ヲ生ジタノデアルト言ハレマシテ大ニ感ジラレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ガ卽チ亞米利加ノ執ッタ方針デアル、故ニ此國デハ千八百七十年ニハ郵便稅ガ二万八千デアッタガ今日デハ七万千餘ニナッテ居ル、ソレデ人口ニ割合ヒマスト八百餘人デ一箇ノ郵便局デアル、其郵便稅ハドウカト云フト一日ノ料金ノ僅ニ五十分ノ一或ハ百分ノ一ト云フ郵稅デアル、其足ラヌ所ハ國庫カラ二千餘万圓每年支出シテ此事業ヲ助ケテ居ル、斯ウ云フ有樣デアルケレドモマダ之ニ滿足シマセヌデ今日二「セント」ノ郵稅ヲ一せんとニ下ル案等モアッテ早晩事實トナッテ是ハ行レルデアラウト思ヒマス、又先刻申上ゲマシタヤウニ郵稅ヲ半減シテ非常ノ好結果ヲ奏シタノハ文明國ノ大勢ト云ッテモ宜イ、故ニ我日本モ若シ出來得ルナラバ今日郵稅ヲ引下ゲテモ此事業ノ普及ヲ圖ラナケレバナラヌトキデアル、然ルニ我國ノ支出ハ收入ヨリハズット少ク差引キスルト政府ノ豫算ヨリハ二百五十万圓餘ノ餘剩ガアル、ソレニ拘ラズ今郵稅ヲ引上ゲレハ信書ノ數ガ減ズルコトヲ知リツ、唯單ニ取易イカラト云ッテ之ヲ引上ゲヤウト云フコトハ實ニ私ハ失策デアラウト考ヘマス、若シ引上ゲマシテモ其金ヲバ此事業將來ノ發達ニ使フコトデアレバ、マダシモデアリマスガ之ヲ以テ一般ノ政費ノ補塡ニ向ケルト云フコトハ實ニ私ハ心得ヌコトデアラウト思ヒマス、サウシテ僅百九十万ノ收入ヲ得ルタメニ斯ウ云フヤウニ直接ニ社會全般ニ痛痒ヲ感ズル郵便稅ヲ引上ゲテ下層ノ人民ヲ苦シメ又此事業ノ發達ヲ害シ延テ經濟界ノ發達文化ノ進歩ヲ妨ゲルト云フコトハ實ニ私ノ取ラヌ所デアリマス、實ニ今日聖明ノ時代ニ斯ウ云フ案ガ現レルト云フコトハ私ハ此國體……國ノ體面ヲ辱シメルコトヲ悲ミマス、ドウゾ諸君ニ於キマシテ御熟考ノ上此案ヲ排斥セラレンコトヲ希望致シマス

（男爵西五辻文仲君「討論終局ノ動議ヲ提出致シマス」ト述フ）

（「マダ早イ」ト呼フ者アリ）

○子爵堀田正養君　チヨット質問ヲ致シタイ、郵便信書ノ必要ナコトニ附イテ歐羅巴ノコトヲ委シク御述ニナリマシタガ郵便信書ノ必要ト云フコトハ恐ラク此席ニ著イテ居ル方ハソンナ御講釋ヲ伺ハヌデモ御承知デアリマセウガ、併シ唯一ツ伺ッテ置キタイノハ唯否ナリト云フコトハ御述ニナリマシタガ……此塡補案ガ出テ居ルガ塡補ニ附イテ何カ御考ガアリマスカ、ソレニ附イテハ責任問題ニナラウト思ヒマス、ナゼト云フモノハ豫算ヲ通過セシメルトキニ我々議員ハ塡補案ヲ見ナイ中ハ豫算ヲ議スルコトハ出來ヌ、其塡補案ハ如何ナルモノガ出ルカ知ラヌガ塡補案ノ顏ヲ見ナイ中ハ豫算ヲ通過セシムルコトハ出來ヌト云ッテ滿場諸君ハ認メラレテ卽チ豫算ノ審査期限ヲ御延バシニナッタコトデ、ソレ〳〵塡補案ガ衆議院ニ出テ、其品物ハ何カト云フテ、是ナラバ宜イト言ッテ各議員ガ此議場ヲ通過セシメタノデアル、ソレ故豫算ノ通過ノ前ナラバ之ヲ否決シテモ其代リニ政府ニ塡補案ヲ提出セシムル義務ガアルト云ッテ宜イカモ知ラヌガ塡補案ノ顏ヲ見テソレヲ通シタ以上ハ之ヲ廢スルニハ別ニ不足ノ塡補ト云フモノヲ我々議員ガ補ハナケレバナラヌト云フ義務ヲ有ッテ居ルト思フ、ソレニ附イテハ相當ノ塡補案ヲ提出サレル御見込ガアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒマス

○子爵三島彌太郎君　御答ヲ致シマス、此塡補案ニ附キマシテハ私一個人ノ考ハゴザイマスケレドモ、ソレハ果シテ議場ニ提出シテ容レラレルヤ否ヤハ斷言ハ出來ナイ、ケレドモ今日私ノ考ヘマスルニハ斯樣ナ課稅案ト云フモノハ殆ド自分ノ咽喉ヲ絞メルヤウナ案ダト思ヒマス、幾ラヒモジイト云ッテモ自分ノ肉ヲ切ッテ食ッタナラバ其體ハ能ク發達スルコトハ出來ナイ、サウ云フ案デアラウト私ハ考ヘマスカラ私ハ此案ノ如キモノハ塡補ノ有ル無シニ拘ラズ通スベキモノデナイト信ジマスルノデアリマス

○子爵堀田正養君　サウ致シマスト豫算ノ歲出ハ議院ガ決議シテ歲入ノ不足ハドウナサル御見込デアリマスカ

○子爵三島彌太郎君　此歲入ハ今私ガ申上ゲタ通私一個ノ考ハアルノデアリマスケレドモ是ガ議場ニ容レラレルヤ否ヤ分ラヌノデアリマス

（子爵堀田正養君「容レラレルヤウニシテヤラナケレバ困ル、サウデナケレバ無責任ダ」ト述フ）

（「モウ御答辯ニハ及バナイ」ト述フル者アリ）
（男爵伊達宗敦君「私ハ質問デハアリマセヌ、希望ヲ述ベテ置タイ、先程討論結局ガ出マシタガ、ドウゾ發言ノ通告ノ出テ居ル人ダケハ意見ヲ述ベルヤウニ致シタイ、何ゾト云フト討論終結ノ動議ガ出テ困ル、既ニ末松君カラモ此間建議ガアリマシタガドウカ諸君御辛抱ニナッテ通告者ノアルダケハ御聽ニナルコトヲ希望致シマス」ト述フ）
（「贊成」ト呼フ者數名アリ）
（「討論終局贊成」ト呼フ者數名アリ）
（「マダ早イ」ト呼フ者アリ）
（「無用」ト呼フ者アリ）
（「歸リタイ人ガアレバ歸ルガ宜イ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　採決ヲ致シマス
（「マダ早イ」ト呼フ者アリ）
贊成ノアッタ以上ハ採決ヲ致シマス
（男爵伊達宗敦君「誰ガ發議シタノデス」ト述フ）
西五辻男爵デアリマス
（「贊成者ハナイ」ト呼フ者アリ）
（松岡康毅君「松岡ガ贊成」ト呼フ）
（「贊成」ト呼フ者アリ）
討論結局ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者　少數

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數ト認メマス、吉川男爵
（「多數」ト呼フ者アリ）
（「少數」ト呼フ者アリ）
（男爵吉川重吉君演壇ニ登ル）

○男爵吉川重吉君　本員ハ此案ノ委員ノ一人デゴザイマシテ本案ニ贊成ヲ致ス者デゴザイマス、唯今反對論者ヨリ郵便稅ハ惡稅デアル如何ニ今日財政ノ必要ヲ感ズルトモ此稅ヲ增加スルト云フコトハ惡イト云フ御論デゴザイマシタ、私共ハ獨リ今日ノ財政上之ヲ必要トスルノミナラズソレホドノ惡稅トハ考ヘナイノデアリマス、成ル程反對論者ノ言レル如ク幾分カ增稅ノ結果トシテ郵便ノ數ガ減ズルト云フヤウナコトモゴザイマセウ、併ナガラソレヲ以テ智識ノ發達ヲ害スルトカ或ハ郵政ノ目的ニ背反スルトカ云フヤウナコトハソレハ極端ノ論カト考ヘルノデアリマス、又反對論者ハ日本ノ郵便ハ比較的ニ高イト云フ御論ガゴザイマシタ、ケレドモ或ル點カラ論ジマスレバ高イトモ論ジラレルノデアリマスル、併ナガラ何モ彼モ外國ニ比較シテ高イトカ低イトカ云フコトヲ言フ必要ハナイト思ヒマスル、ノミナラズ或ル點カラ言ヘバ高イト同時ニ矢張低イノデアルノデアル、卽チ日本ニ於キマシテ郵便稅ヲ始メ課セラレマシタトキニハ區々デゴザイマシタガ十七年……明治十七年ノ頃カト考ヘテ居リマスル二錢ト云フコトニナリマシタ、其トキノ二錢ト云フモノハ卽チ亞米利加ナンゾノ二錢或ハ英吉利ノ一「ペネー」ト云フヤウナ比較ヲ取ッテ日本モ二錢ト云フ稅率ヲ定メラレタコトデアラウト存ジマス、爾來時勢ノ變遷ト共ニ物價ハ騰貴致シマシタ、貨幣ハ下落致シマシテ前二錢ノモノハ殆ド一錢ト云ッテ宜イ程ナ比例ニナリマシタ、且ツ又金貨本位實施ノ結果ト致シマシテ貨幣ト云フモノ、直段ガ餘程違ッタ譯デアリマシテ萬國郵便ノ如キモ是マデ亞米利加ヘ向ッテ五錢デアッタモノヲ……卽チ亞米利加ノ五仙ニ對スル日本ノ五錢デアッタモノヲ金貨本位實施ノ結果ト致シテ十錢ト致シタヤウナ例モアルノデゴザイマシテ卽チ此貨幣ノ値打ト云フモノモ違ッテ居リマス、又唯今三島子爵ハ重量ガ日本ノハ比較的ニ輕イト云フヤウナ御論モゴザイマシタガ、併ナガラ是ハ重量ガ多イカラ必ズヤスイト云フ比例モサウ細密ナコトハ言ハレナイコトヽ存ジマス、三島君モ言レル如ク、ドコデゴザイマシタカ國ハチヨット記憶致シマセヌガ二匁ハ五厘五毛ニ當ルト云フヤウナ御論モゴザイマシタガ併ナガラ重量ガ幾ラアッテ金ハ幾ラデアルカラ何匁ハ何厘幾ラト云フ計算モ出來兼ネルデゴザイマス、又反對論者ノ言レルノニハ二匁以下ノ郵便ヲ使用スルモノハ總數ノ九割以上デアルト斯ウ申サレマシタルニ依ッテモ分リマスル通卽チ郵便ヲ使用スレバ重量ニ關ラズ廉イ郵便ヲ使用スルノデアリマスカラ重量ト云フモノハサウ絕對的ニ重量ノタメニ高イトカヤスイトカ云フ論モ出兼ネルト思ヒマス、又郵便ノ性質ニ附イテ御論ガゴザイマシタガ、抑〻此郵便ノ性質ト云フモノハ……是ガ郵便ノ性質ト云フコトモ言ヒ惡イ次第ノモノデアリマシテ之ヲ或ハ手數料ト見テ其手數料ニ必要ナル收入ヲ取レバ足レリトスルコトモアリマセウ、又或ル點カラ之ヲ見レバ稅トシテ手數料ニ必要ナル收入ノ外ノ稅ト致シテ幾分カ徵收シ、是ヲ以テ國庫ノ費用ニモ充テ、又交通機關ノ發達ニモ充テルト云フコトモ出來ルノデアリマシテ必ズ是ハ成ルベク廉クシナケレバナラヌ、損ヲシテモ郵便ヲ發達セシメナケレバナラヌト云フ程ニ論ズベキモノデモナイト思ヒマスル、要スルニ是等ノコトハ其國ノ狀況ニ依ッテ違フノデアリマス、唯今モ亞米利加ノ例ヲ御引ニナリマシタガ日本ト亞米利加ナンゾヲ以テ同一ノ論トスルコトハ出來ナイコト、存ジマスル、御承知ノ通亞米利加ナンゾハ國ガ廣ウゴザイマシテ人ガ少イ、斯ノ如キ國ニ向ッテ施ス政策ト云フモノハ恰モ日本ノ北海道ニ向ッテ施ス政策ノ如ク是ハ一種ノ政策ガイルノデゴザイマス、ソレ故ニ歐羅巴各國ノ郵便ノ收入支出ヲ比較シテ見マスレバ收入ノ支出ニ及バヌ國ト申シマスルモノハ亞米利加、露西亞、加拿陀、伯剌西爾、智利、斯ノ如キ皆ナ國ガ廣ウシテ人民ノ少イ所デアルノデゴザイマス、之ニ反シマシテ英吉利ノ如キハ、法デ數ヲ記憶シテ居リマスルカラ法デ申上ゲマスルガ十年前ノ統計デ六千九百万法ノ純收益ガアッタノデアリマスル、獨逸ノ如キハ三千七百万法アッタカト記憶致シマス、佛蘭西モ二千万法以上ト記憶致シテ居リマス、澳太利モ千百万法以上、皆千万法以上、千万乃至數千万以上ノ純益ヲ取ッテ居ルノデアリマス、之ニ反シテ日本ハ二百五十万圓ノ純益デアッテ之ヲ法ニ換算致シマシタ所ガ七百五十万法位ノコトニ當ルノデアリマス、又他ノ國ト比較致シマシデモ日本ノハ純益ニ比較的ニ少イト存ジマスル、斯ノ如キ有樣デゴザイマシテ必ズ他國ハ斯ウデアルカラ左樣ニシナケレバナラヌトカ或ハ斯ウスルノハ絕對的ニ郵便ノ目的ニ反スルトカ或ハ商賣ヲ妨グルトカ云フノハ是ハ極論ト私共ハ考ヘルノデアリマス、成ル程三島子爵ノ引例セラレタ如ク英吉利ニ於キマシテハ千八百四十年ニ七片ノモノヲ一「ペネー」ニ下ゲマシタトキハ郵便ノ數ガ非常ニ殖タ、併シ收入ガ減ジタト斯ウ仰セラレマシタガ、ソレデ郵便ノ數ガ殖エルト同時ニ收入ガ減ズルト云フヤウナコトハ非常ナ下ゲ方デアッタカラ收入ガ減ジタト仰セラレマシタガ併シ此論ト申スモノハ是

ハ兩方ノコトニ論ゼラレヤウト思ヒマス、郵便ノ税ヲ非常ニ下ゲタガ故ニ非常ニ收入ガ減ジタ、又非常ニ下ゲタガ故ニ數モ殖エタノデアリマス、二錢ノモノヲ十四錢ニモ殖シマシタカラ卽七倍ニモ致シマスレバ或ハ數ガ非常ニ減ズルカモ知レマセヌ、併ナガラ今日ハ日本デハ左樣ナ無謀ナコトヲシヤウト云フ話デモ何デモナイ、唯二錢ノモノヲ三錢ニ殖ヤスト云フノデ卽チ今日ノ時勢ニ適當シテ應分ノ殖シ方ニシヤウト云フ斯ウ云フ話デアルノデゴザイマス、又貧富ノ論モゴザイマシテ是ハ貧民ヲ苦シメルト斯ウ云フ御論デアリマスルガ併シ如何デアリマセウカ、之ヲ地租ニ比較シ之ヲ醬油税ニ比較シ其他ノモノニ比較致シマシタ所ガ是ハ貧民ヲ苦メルト云フヤウナ税率ト云フモノデハナイト思ヒマスル、ト申シマスルノハ郵便税ト云フモノハ其時々ノ需要ニ應ジテ僅カ二錢カ三錢拂フモノデアルノデ、貧民ガ苦痛ヲ感ズルト云フコトデハナイノデゴザイマス、郵便税ヲ拂フ者ハ多ク富豪者デアルノデゴザイマス、又郵便税ハ經濟界ノ發達ヲ妨ゲルト云フ御論モ御尤デゴザイマスルケレドモ本員達デモ若シモ郵便税ヲ減ジマスコトガ出來ルナラバ決シテ喜バヌデハアリマセヌ、併ナガラ如何セム國家ハ必要ナル税ト云フモノヲ徵收シナケレバ、仕方ガナイノデアリマシテ之ヲ申セバ營業税モ或ハ商買ノ發達ヲ害スルカモ知レナイ、其他交通ノ機關鐵道汽船等ニ課税スルノモ皆ソレハ商業ノ發達ヲ多少害スルカモ知レマセヌケレドモ併ナガラ國家ハ必要ナル方向ニ向ッテ必要ナル收税ヲスルト云フコトハ決シテ不都合ノコトデナイト考ヘマスル、故ニ前申シマスル通本員ハ郵便税ト申シマスルモノハ左程ニ悪税トハ考ヘマセヌ、卽チ反對論者ノ云ハレル所ハ是ハ極論ト考ヘマスル、極ッタ論ト〔ドチラガ曲論デスカ〕ト述フル者アリ〕

キヨクハ曲ッタデハゴザイマセヌ、極ッタ論ト考ヘマス、又右ノ如ク悪税トハ考ヘマセヌノニ加フルニ今日ノ財政ノ狀況ヲ考ヘマスルト此議會ハ御承知ノ通ノ經過デゴザイマシテ今日ハ是非共補塡ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト云フ場合ニ立至リマシテ若シモ此郵便税ヲ否決致シマスルナラバ適當ナ財源ヲ見出サナケレバナラヌト云フ今日デアリマス、ソレデ他ノ財源ニ附キマシテハ今三島子爵モ云ハレル通人ミ考モアリマセウケレドモ併シ衆人ノ見ル所是ガ適當ノ財源ト云フモノ中ミナイモノデアリマシテ本員ノ考ヘマスルノニモ或ハ是ト比較的ニ同等ノ財源ガアルカモ知レマセヌケレドモ併ナガラ郵便税ヲ今增加シナイデ外ニ十分ナル財源ヲ見出スト云フコトハ難イコトト存ジマス、故ニ何卒此案ハ御贊成ナランコトヲ希望致シマスル

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君　本員モ本案ノ委員ノ一人デアリマス、然ルニ不幸ニ致シマシテ第二回ノ此決論ノ日ニハ出席ヲ致シマセヌデアリマシタ、本員等ガ、闕席ヲシタタメニ少數意見トシテ提出スルコトガ出來ナカッタノハ甚ダ殘念ニ思ヒマス、實際ニ於テハ少數意見ガ成立ヌ程ノ少數デハアリマセヌ、現ニ否決ヲ主張スル者ガ、四人モ居リマス、總人數九人ノ中ニ四人、後トノ五人ハ悉ク反對ニシテモ少數意見ハ見事ニ成立ベキデアッタノヲ本員ガ闕席杯ヲ致シマシタタメニ少數意見モ出マセヌヤウナ次第ニナリマシタ、ソレ故ニ委員會ニ闕席致シマシタ故ニ速記錄ヲ讀ンデ見マスルト此反對論者卽チ我ミト同論者ハ立派ナ理由ヲ備ヘテ論ゼラレテ居リマスガ我ミニ反對スル所ノ可決論者ハ何レモ甚ダ單簡ノ演說其上ニ必ズ一ツノ冒頭ヲ置イテ居ラレマス、或ハ曰ク進ンデ此案ハ贊成シナイ或ハ曰ク餘儀ナク贊成スル、不十分ナ案ト云フコトハ知ッテ居ル其委員ノ二人、主張サレタ所ノ二人ガ二人共進デ贊成シナイ或ハ不十分ト知ッテ贊成スルト云ハレ、バ如何ニ其論點ノ薄弱デアッタカト云フコトハ諸君ノ御推察ニアラウト思ヒマス、此論ノ委細ノコトニ附イテハ同論者三島子爵ガ先刻歐羅巴古今ノ例ヲ引イテ審ニ論ゼラレマシタニ依ッテ本員ガ今更ニ似寄ッタコトヲ云フ必要ハ決シテナイト思ヒマス、ソレ故ニソレハ申シマセヌ、元來是モ三島君ノ言レマシタコトデハアリマスガ此郵便ノタメニ日本政府ハ現今ハ二百二三十万ト云フモノヲ利益シテ居リマス、人民ノ通信ノ上ハ前ヲ取ッテ國家ハ二百二三十万圓ヲ既ニ利シテ居ルノデアリマス、然ニモ尙ホ飽足ラズ此上ニ百六十万圓、希望ハ百八十万圓デアッタガ實際得ル所ノモノハ衆議院デ修正サレテ百六十万圓卽チ郵便ノ上ヨリ三百八十万圓ト云フ利益ヲ取ラウト云フノガ此案ノ性質デアリマス、今交通卽チ郵便、郵便ヨリ税ヲ取ッテ之ヲ他ニ使フト云フノハ決シテ道理ノナイコトヽ云フモノハ同論者諸君ヨリモ喋々論ゼラレマシタガ本員モ實ニ斯ウ考ヘルノデアリマス、我ミニ反對スル者ハ曰ク其收益ヲ以テ他ノ電信等ニ使フ、斯ノ如キコトヲ言ハレマスガ、併シソレモ甚ダ曖昧タル云イヤウデアル、ソレハ決シテ左樣ニハ論ゼラレヌモノデアル、郵便ノ利益ヲ取ッテ郵便ノ發達スルタメニ使フトカ或ハ郵便ヲ現在ヨリ早ク、速ニ或ハ確ニ或ハ雨杯ニ濡レヌヤウニ水ニ浸ラヌヤウニ郵便ヲ保護スルタメニ使フナラバ宜シイガ他ノモノニ之ヲ使フト云フニハ卽チ國庫ニ一遍入レテソレヲ使フ譯デアリマスカラソレハ郵便ニ使フト云フモノデハナイノデアル、他ニハドコカラ取ッタ金ヲドコニ使ッテモ決シテ問ヘナイモノデアレバ郵便カラ取ッタ金ヲ以テ陸軍ヲ養フコトモ出來レバ海軍モ養フコトモ出來ルカラ國庫ニ一遍入ッタ以上ハ決シテ之ヲ、他ノモノニ使フ以上ハ郵政卽チ交通機關ニ使フト云フ理由ハ立タヌノデアル、國庫ガ利スルノデアルト云フコトヲ政府自ラモ言ハレテアル政府委員モ自ラ言レタ、好マシカラヌ税デアルガ塡補トスルノデアルト云フコトハ政府委員一人云フノミナラズ過日遞信大臣ガ此席ニ於テ言レタコトハ諸君ノ御承知ノ通デアリマス、全ク是ハ塡補ノ策トシテ出タノハ事實デアリマス、却ッテ之ヲ庇護スル議員ハ此通信上ニ使ウヤウニ言レルノハ寧ロ其庇護スル方ニ於テ或ハ誤ッテ居ルダラウト思ヒマス、正シク云ヘバ是ハ卽チ塡補案デアル其塡補案トシテ之ヲ見ルニ甚ダ宜シクナイ案デアル、非常ニ間違タ案デアル、卽チ悪税デアルト云フコトハ三島君ガ喋々論ゼラレマシタ、且ツ其以前ニ黑田侯爵ナゾモ論ゼラレマシタニ依ッテ本員等ハソレハ申シマセヌ、唯茲ニ先刻來追ミ質問、寧ロ詰問的ニ堀田子爵ヨリモ出マシタ所ノ若モ今日此案ヲ否決シタナラバ此塡補ハ何ヲ以テスルカト云フ論ガアリマス是レ或ハ此案ノ死活ニ多少ノ影響ヲ及スデアラウト思ヒマスカラ此コトニ附イテ本員ハ是ヨリ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、元來議院トシテ支出ヲ決シタ以上ハ其支出ニ應ズルダケノモノハ必ズ何デモ贊成シナケレバナラヌト云フ理由ガドコニアリマスカ、斯ノ如ク論ジ來レバ一度支出ヲ決シタ以上ハドンナコトガアッテモ其支出ダケノモノハ飽クマデ納メナケレバナラヌト云フナラバ收入ヲ議スル前ニ於テドウシテモ支出ヲ議スルコトニナラヌノデアル、收入ヲ先キニ議セナケレバナラヌノデアル、收

入ヲ先キニ議セズニ置イテ支出ヲ先キニ議シタアトニ持ッテ行ッテ何案デモ是非通サナケレバナラヌト云フコトハナイノデアル、我ミハ斯ノ如キ義務ハナイノデアル、去リナガラ方法トシテハ幾ラモアリマセウ、若シ此案ヲ否決シマシタナラバ百六十万ト云フモノハ足ラヌカ知レマセヌ、足ラヌニ附イテハドウスルト云フコトハ當局者ニ自ラ說モアリマセウ、他ニ良イ稅源ヲ求メルト云フコトモアリマセウ、又新ニ稅源ヲ求メナクテモ一時償金部ヨリ繰入レルト云フコトモ出來マセウ、サウシテ已ムナクンバ公債ヲ起シテヤッテモ宜イ、何モ無理ナコトヲシテ惡稅ヲ取ッテ人ヲ困ラセナクテモ宜イ、惡稅ノ例ヲ開クヨリハ僅カ一箇年ノ事デアルカラ此際公債募集ナリ償金繰入ナリニ依ッテ置イテサウシ來年ハ他ノ政費ヲ節減ヲシテ出入相償フヤウニシテ來年ノ豫算ヲ立テタナラバ僅カ今年一年ノコトデアルニ依ッテソレデ往ケルコトト思フノデアリマス、故ニ本員ハ飽クマデモ此案ノ否決ヲ欲スル者デアリマス

○男爵西五辻文仲君　討論終局ノ動議ヲ提出シマス

（「贊成」ト呼フ者數名アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）西五辻男爵ヨリ討論終局ノ動議ガ出マシテ贊成ガアリマスカラ決ヲ採リマス、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵近衞篤麿君）過半數デゴザイマス討論ハ終結シマス、本案ノ採決ニ附イテハ無記名投票ヲ用フベシト云フ要求ガアリマス、無記名投票ニ依リマス

○男爵千家尊福君　無記名投票ノ請求ハドナタカラ出テ居リマス

○議長（公爵近衞篤麿君）定規ノ贊成ヲ得テ出テ居リマスガ皆名前ヲ讀ミマスカ一名デ宜シウゴザイマスカ

○男爵千家尊福君　提出者ダケデ宜シウゴザイマス

○議長（公爵近衞篤麿君）曾我子爵岡部子爵其外定規ノ贊成ガアリマス

○男爵伊達宗敦君　記名投票ノ請求モ出テ居リマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）出テ居リマセヌ、ソレデハ無記名投票ヲ行ヒマス

○男爵吉川重吉君　記名投票ノ請求ヲ自席デ持出スコトハ許サレマセヌカ

○議長（公爵近衞篤麿君）既ニ無記名投票ヲ行フト云フ宣告ヲ致シマシタカラ晩ウゴザイマス、然ラバ無記名投票ヲ行ヒマス、チョット念ノタメニ申シテ置キマスガ本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ白イ球ヲ御入レニナリ反對ノ諸君ハ黑イ球ヲ御入レニナルノデアリマス、ソレカラ名刺ヲ御忘ノナイ樣ニ願ヒマス

○議長（公爵近衞篤麿君）是ヨリ氏名黙呼ヲ行ヒマス

（氏名黙呼ヲ行フ）

○議長（公爵近衞篤麿君）是ヨリ開函致シマス

（書記官投票ヲ計算ス）

○議長（公爵近衞篤麿君）投票ノ結果ヲ御報道シマス、出席總數二百零三、白球百三十三、黑球七十、本案ハ二讀會ニ移スベシト決シマス

○山田卓介君　直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

（「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）直ニ二讀會ニ移ルベシトスルノ說ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）然ラバ二讀會ニ移リマス

○子爵曾我祐準君　本員等ハ唯今ヨリ兩院協議會ノ方ニ出席致シマスカラ退席致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）宜シウゴザイマス

○男爵赤松則良君　本員モ委員會ノ方ニ出席致シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）宜シウゴザイマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○男爵西五辻文仲君　直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

（「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）直ニ三讀會ヲ開クト云フ說ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）然ラバ三讀會ニ移リマス

○議長（公爵近衞篤麿君）御異議ガナクバ本案可決ト認メマス

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

（松岡康毅君發言ヲ求ム）

○議長（公爵近衞篤麿君）松岡君ハ何デスカ

○松岡康毅君　委員會ヲ開キタウゴザイマスガ退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）宜シウゴザイマス、是ヨリ今朝ノ噸稅法案ニ戻ルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）噸稅法案ハ少數意見ノコトニ附キマシテ今朝少シク議長ノ宣告ニ對シテ異議ガアリマシテ其異議ニハ段々贊成モアリマシタノデアリマス、併ナガラ休憩時間ニ段々協議ヲ遂ゲマシテ、議長ノ宣告ノ方ガ從來ノ慣例ニ依ッタノデアリマスカラ此法案ニ附イテハ彼ノ通リ致シテ宜カラウト云フ異議者ノ考デアリマシタノデアリマス、此問題ニ附キマシテハ別ニ或ハ異議ガ起ルカ知レマセヌガ此議案ハ議長ノ宣告ノ通ニ行フ積テゴザイマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）噸稅法案第二讀會、第一條、朗讀ハ省略致シマス

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

第一條　外國貿易ノ爲外國ヨリ帝國ニ來リタル內外國船舶ニハ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ噸稅ヲ課シ數港ヲ經ルモノハ最初ノ港ニ於テ十錢ヲ課ス但シ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付三十錢ヲ一時ニ納付スルトキハ滿一箇年間何レノ港ニ於テモ噸稅ヲ納ムルヲ要セス

帝國ト測度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル測度法ニ依リ換算ス

（特別委員修正案）

第一條　外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶ニシテ外國ヨリ帝國開港ニ入港シタルトキハ最初ノ港ニ於テ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付十錢ノ噸稅ヲ課ス但シ毎年ノ納稅額ハ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付三十錢ヲ超エサルモノトス

（少數者意見）

第一條　外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶開港ニ入港シタルトキハ其ノ入港毎ニ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ噸稅ヲ課ス但シ登簿噸數一噸ニ付十五錢ヲ一時ニ納付スルトキハ其ノ港ニ於テハ滿一箇年間噸稅ヲ納ムルヲ要セス

帝國ト測度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル測度法ニ依リ換算ス

（水野遵君修正案）

第一條　外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶開港ニ入港シタルトキハ其ノ入港毎ニ登簿噸數一噸ニ付十錢ノ噸稅ヲ課ス但シ登簿噸數一噸ニ付三十錢ヲ一時ニ納付スルトキハ其ノ港ニ於テハ滿一箇年間噸稅ヲ納ムルヲ要セス

帝國ト測度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル測度法ニ依リ換算ス

○議長（公爵近衞篤麿君）　本案ニ附キマシテハ水野君ノ修正ガゴザイマス、又磯邊君カラモ修正案ガゴザイマス

（水野遵君演壇ニ登ル）

○水野遵君　諸君、私ハ噸稅法案ノ第一條ニ就テ修正ヲ提出致シマスルガ、卽チ其修正ハ取リモ直サズ政府案ニ復活スルト云フ修正デゴザイマス、是ハ成ルタケ簡單ニ致シマスデゴザイマスルガ元ヽ修正、衆議院ヨリ參ッテ居ル案ノ政府案ヲ修正シタル理由ハ重ニ此社外船ト申スモノヽ負擔ガ重イニ依ッテ更ニ輕メントスルガ第一ノ理由ニナッテ修正ヲサレタヤウデアリマス、卽チ計數ノ上ニ附イテノ修正デゴザイマスルデ、ソレヲ反駁ヲ致シマスルニハ矢張幾分カ數字ヲ申上ゲマセヌト私ノ原案ニ復活スルト云フ主意ガ徹底致シマセヌ故ニ少々長クナルカモ知レマセヌガ御辛抱ヲ願ヒタウゴザイマス、其第一……

（「簡短ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）

簡短ニヤリマスガ

（「簡短ニ願ヒマス、簡短デナイト却ッテイケマセヌ、理窟ハ分ッテ居ル」又「長クオヤンナサイ、十分オヤンナサイ」ト述フル者アリ）

第一ノ理由ハ日本帝國ガ條約改正ヨリ得マシタル權利ヲ汚スト云フコトニナル、衆議院ノ修正ハ、第二ニ衆議院ノ修正ハ我帝國ノ國權ヲ侵害サルヽコトヲ甘諾スルト云フコトニ當ル、第三ニハ課稅上ノ不便ガゴザイマス、第四ニハ衆議院ノ修正致シマシタ如クニ致シマスト歐米諸國ニ類例ノナイ噸稅ノ取方デ、卽チ亞細亞ニ於テ支那ガヤッテ居ルト同ジコトニナル、ソレカラ第五ニハ國庫ノ收入ニ卽チ影響ヲ及シマス、先ヅ大要此五點デアリマス、之ヲ申シマス、諸君モ御存ジノ通第一條約上ニ於テ帝國政府ガ始テ此噸稅ト云フコトヲ甘諾スルト云フコトニ當ル、第三ニハ課稅上ノ不便ガゴザイマスルガ元ヽ修正、衆議院ヨリ參ッテ居ル案ノ政府案ヲ修正シタル理由ハ重ニ此社外船ト申スモノヽ負擔ガ重イニ依ッテ更ニ輕メントスルガ第一ノ理由ニナッテ修正ヲサレタヤウデアリマス、卽チ計數ノ上ニ附イテノ修正デゴザイマスルデ、ソレヲ反駁ヲ致シマスルニハ矢張幾分カ數字ヲ申上ゲマセヌト私ノ原案ニ復活スルト云フ主意ガ徹底致シマセヌ故ニ少々長クナルカモ知レマセヌガ御辛抱ヲ願ヒタウゴザイマス、其第一……

（「簡短ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）

簡短ニヤリマスガ

（「簡短ニ願ヒマス、簡短デナイト却ッテイケマセヌ、理窟ハ分ッテ居ル」又「長クオヤンナサイ、十分オヤンナサイ」ト述フル者アリ）

第一ノ理由ハ日本帝國ガ條約改正ヨリ得マシタル權利ヲ汚スト云フコトニナル、衆議院ノ修正ハ、第二ニ衆議院ノ修正ハ我帝國ノ國權ヲ侵害サルヽコトヲ甘諾スルト云フコトニ當ル、第三ニハ課稅上ノ不便ガゴザイマス、第四ニハ衆議院ノ修正致シマシタ如クニ致シマスト歐米諸國ニ類例ノナイ噸稅ノ取方デ、卽チ亞細亞ニ於テ支那ガヤッテ居ルト同ジコトニナル、ソレカラ第五ニハ國庫ノ收入ニ卽チ影響ヲ及シマス、先ヅ大要此五點デアリマス、之ヲ申シマス、諸君モ御存ジノ通第一條約上ニ於テ帝國政府ガ始テ此噸稅ト云フコトヲ甘諾スルト云フコトニ當ル、第三ニハ課稅上ノ不便ガゴザイマスルガ元ヽ修正、衆議院ヨリ參ッテ居ル案ノ政府案ヲ修正シタル理由ハ重ニ此社外船ト申スモノヽ負擔ガ重イニ依ッテ更ニ輕メントスルガ第一ノ理由ニナッテ修正ヲサレタヤウデアリマス、卽チ計數ノ上ニ附イテノ修正デゴザイマスルデ、ソレヲ反駁ヲ致シマスルニハ矢張幾分カ數字ヲ申上ゲマセヌト私ノ原案ニ復活スルト云フ主意ガ徹底致シマセヌ故ニ少々長クナルカモ知レマセヌガ御辛抱ヲ願ヒタウゴザイマス、其

唯今マデハ船ノ大小ニ拘ラズ手數料ヲ合テ漸ク二十二圓取ッテ居ッタダケデゴザイマス、然ルニ衆議院ノ修正ノ如クニ致シマスト卽チ委員會決議ノ如クニ致シマスト政府案ヨリ金額ハ半分ニナリマス、一噸ニ附イテ五錢ト申シマスル修正案ハ亞米利加ノ如クヤスイ所ニ比較致シテ見マシテモ一噸ニ附イテ七錢ヤスイノデアル、外國デハ燈臺稅其他ノモノヲ取リマスノガ我帝國デハ此噸稅ト云フモノダケ取ッテ別ニ燈臺稅抔ハ取ルコトハ出來マセヌ、唯ヽ條約改正ノ結果トシテ唯今マデ取リ居リマシタ手數料ガ外國ト同樣ニ噸稅ト云フモノニ代ッテソレヲ帝國ノ意思ノ欲スル所ニ依ッテ取ルト云フコトニナリマス、ソレヲ殊更ニ金額ヲ減ジマシテ外國ヨリモ大變ニ低イ噸稅ヲ取ルト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデアル、卽チ是ガ私ノ申ス帝國ガ當然ニ得タル權利卽チ二十年來條約改正……臥薪嘗膽ノ其上デ得タル大時機ニ始テ賦課スル噸稅ニ斯ノ如キ汚點ヲ附ケルコトハ甚ダ遺憾デアルト存ジマス、ソレカラ第二ニ此衆議院ノ修正デハ帝國ノ港ヘ這入ッテ一ノ港デ稅ヲ拂ヘバ他ノ港ヘ這入ッタトキハ稅ヲ拂ハヌデモ宜イト云フヤウナ意味ノ修正ニナッテ居リマス、是ガ甚ダイケナイト申シマスルモノハ諸君御承知ノ通「コーステッド、トレード」卽チ沿岸貿易ト云フモノハ獨立國ガ他ノ外國ニ許スベキコトデナイ、然ルニ此法律ニ依ッテ見ルト一ノ港デ拂ヘバ他ノ港ハ拂ハヌデモ宜イト云フ取モ直サズ沿岸貿易ノ方カラ政府ガ默許スル、否ナ明許スルト云フコトニ當リマス、ソレカラ第三ニ課稅上ノ不便ト申スノハ先般政府委員ガ申シマシタ通一々船長カラ領收證ヲ取寄セマシテ更ニ檢査シテ二十圓ニ充タザル以上ハ調ベナイデ宜イ、是ハ到底ソンナコトノ出來ルモノデナイ、詳シイコトハ磯邊議員ガ御話ニナリマシタ通デアリマス、ソレカラ第四ニ支那ノ方ハソレガナイト申シマスノハ外國デハ何處デモ一港ニ這入レバ這入ル度毎ニ卽チ政府原案ノ通噸稅ヲ納メテ居ル、然ルニ支那帝國デハ三箇月分納メレバ三月ノ間ハドノ港ヘ這入ッテモ宜シイト云フコトハ是ハ歐米諸國ト對等條約ヲ致サヌコトカラ規約ニナッテ居ル、何ニヲ苦ンデ我帝國ハ支那ノ轍ヲ踏ムコトヲ致サヌケレバナラヌト云フコトハ甚ダ本員ノ感慨ニ堪ヘヌコトデアリマス、ソレカラ第五ニ國庫ノ損ト申シマスルモノハ四十七万五千圓ノ收入ヲ得ベキヲ半額減ラス、半額減ラスノハ誠ニ謂レナイコトデ是ハ內地人ヨリ取ルベキモノデアルナラ或ハ理由モゴザイマセウケレドモ、殆ド四十七万五千圓ノ內三十八万圓ト申スモノハ外國郵便船カラ是ハ納メルノデアル、差引十二万圓ト云フモノガ內地人ガ納メルベキモノデ、內郵船會社其他大イナル船ヲ以テ定期ニ航海スル會社カラ納メルモノガ殆ド九万圓程、差引殘ッテ漸ヽ所謂社外船ト云フモノヽ納メルノハ二万八千……三万圓足ラズノ金デアル、是ハ私ハ詳シキ計數ヲ以テ居リマスガ簡短ト云フ御注文ノタメニ御話ヲ致シマセヌ、此計算ニハ誤ハナイ積デアリマス、然ルニ之ヲ半額ニ致シマスト漸ク一万圓若クハ一万二三千圓ト云フモノガ社外船ノ船主カラ納メル、其社外船ノ船主ト云フモノハドレダケアルカト云フニ會社ガ十五、一個人ノ數ガ三十六、殆ド五十一人デ一万何千圓出スト云フコトヲ救フガタメニ三十八万圓殆ド四十万足ラズノ金ヲ外國ノ船ヨリ取ルベキ其半額二十万圓バカリヲ取ラヌ結果ニナル、是ハ甚ダ喜バヌ、殊ニ國庫ノ收入ヲ減ラスト云フコトハ甚ダ謂レナイコトヽ信ジマス、デ私ガ主張致シマスルノハ第一ニ是ハ權利問題、所謂帝國獨立ノ體面上ヨリ致シテ斯樣ニ致スベキモノデナイ、第二國庫ガ損ヲ被ルノ

ハドレダケ影響致スカト云ヘバ勿論社外船主ト會社トデ五十一人デ一個人トシテノ負擔ガ重ナルガタメニ一方ノ方ニ外國人カラ四十万ノ金ヲ取ルベキヲ二十万圓ヲ國庫ガ謂レナク收入シナイコトニナルカラ私ハ委員ノ報告ニ反對シ、衆議院ノ議案ハ無論反對シテ政府案ノ通ニナルベキガ當然ト存ジマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

（發言ノ許可ヲ求ムル者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）定足ガ唯今餘程缺ケテ居リマスル、尚ホ通告ガ澤山アリマスカラ明日ニ延バスコトニ致シマス、明日ノ議事日程ヲ御報道致シマス、ソレカラチヨット御相談ヲシマスルガ、未ダ定規ノ時日ヲ經ナイモノガアリマスガ委員付託ダケデアリマスカラ明日ノ日程ニ上ボスコトニ致シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

（太田書記官長朗讀）

午前十時開議

第一　明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案（第九號）審査期限ヲ定ムルノ件　第一讀會

第二　水先法案（政府提出）　第一讀會

第三　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第四　非訟事件手續法中改正法律案（政府提出）　第一讀會

第五　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第六　長野縣下郡廢置及郡界變更法律案（政府提出）　第一讀會

第七　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第八　香川縣下郡廢置法律案（政府提出案議院送付）　第一讀會

第九　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十　噸稅法案（政府提出案議院送付）　第二讀會（前會ノ續）

第十一　重罪控訴豫納金規則中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十二　漁業法案（政府提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十三　登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定廢止法律案（政府提出案議院送付）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第十四　實業教育費國庫補助法中改正法律案（衆議院提出）　第一讀會

第十五　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十六　關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案（衆議院提出）　第一讀會

第十七　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第十八　種牡馬檢査法中改正法律案（衆議院提出）　第一讀會

第十九　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第二十　特別年限地租增徵ニ關スル法律案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（特別委員長報告）

第二十一　北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案（男爵小澤武雄君外二名發議）　會議

第二十二　溫泉津燈臺建設ノ請願　會議

第二十三　衆議院議員選擧法改正ノ請願　會議

第二十四　奥羽鐵道布設工事ニ關スル請願　會議

第二十五　家祿ニ關スルノ請願　會議

第二十六　私設鐵道買收ニ關スル請願　會議

第二十七　印紙稅法案ニ關スル請願　會議

第二十八　北海道水產稅全廢ノ請願　會議

第二十九　在外賣淫婦取締法制定ニ關スル請願　會議

第三十　醬油稅增加ヲ不可トスル件請願　會議

第三十一　葉煙草專賣支所改設ノ請願　會議

第三十二　賣藥印紙全廢ノ請願　會議

第三十三　自家用料醬油製造取締ノ請願　會議

第三十四　復籍ノ請願　會議

第三十五　市街宅地上地下付ノ請願　會議

第三十六　家屋稅及醬油稅ニ關スル請願　會議

第三十七　社寺上地林還付ノ請願　會議

第三十八　鐵道國有ノ請願　會議

○議長（公爵近衛篤麿君）本日ハ散會

午後三時四分散會